

施工説明書

水洗便器

\New/ 節水キレイ洗浄
アラウーノV
 A-La-Uno V

品番

タイプ	便器	給排水部材セット	排水高さ (mm)
手洗い付き	CH3010PWST	CH301FP	120/155*1 (*1 別途、CH301Zの手配が必要です)
手洗い無し	CH3010PWS		
・オプション			
便器洗浄リモコン	CH300S		
台輪	CH301Z (壁排水155タイプの場合必要)		



※写真は、便座「NewアラウーノV専用トワレ」（別売）を組み合わせた場合です。

壁排水タイプ

後ろ抜き

排水ジョイント接続

- 施工にあたっては、
2・3ページの「施工チャート」
を参照してください

■もくじ

施工チャート	2
各部のなまえ	4
寸法図	5
部品の確認	6
安全上のご注意	8
取り付け前の確認	9
タイプ別の施工手順	10～31
施工完了チェックリスト	裏表紙
引き渡し	裏表紙

- この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」(8～9ページ)は、施工前に必ずお読みください。

- 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負いません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

- 施工後は引き渡しの際に、取扱説明書に従って取扱方法をお施主様にご説明いただき、保証書に必要事項を記入してお施主様にお渡しください。

- この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。



▶施工チャート

- タイプ別に必要な施工内容と施工手順が異なります。下記を参照し、施工の流れを確認してください。

後ろ抜きの場合

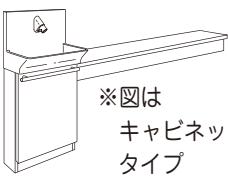
施工前の確認

手洗いの施工手順

または

「アラウーノ専用
手洗い」と併設

別売
手洗



手洗い付き

T



手洗いの施工

便器の施工

便器の施工手順

または

後ろ抜き
(排水高さ=120 mm)

U



台輪付き
後ろ抜き

U

(排水高さ=155 mm)

台輪施工説明書 (オプション)
2ページ 1 給水位置の確認

1 便器設置前の手順 10

- 1 サイドカバー・リアカバーの取り外し 10
- 2 排水導入管 A の取り付け 11
- 3 給水ホース（下側）の取り付け 11
- 4 支柱パイプの取り付け 12
- 5 リアカバーの取り付け 12

手洗い付きの場合

- 6 手洗いの取り付け 22
- 7 コネクタの接続 23
- 8 給水ホース（上側）の取り付け 23
- 9 排水導入管 B の取り付け 24
- 10 排水導入管 C の取り付け 24

- 1 配管工事（止水栓の取り付け） 13
- 2 床工事 13

- 3 型紙の組み立てと固定片の取り付け 14
- 4 サイドカバーの取り外し 14
- 5 接続パッキンの取り付け 15
- 6 便器の取り付け 15

台輪施工説明書 (オプション)

2ページ 2 型紙の組み立て
3
5ページ 7 便器の取り付け

※「アラウーノ専用手洗い」に付属の施工説明書を参照

共通

共通の施工手順 25~31ページ

- 1 止水栓への接続 25
- 2 便座の取り付け 26
- 3 リモコンホルダーの取り付け（オプション） 26
- 4 リモコンの取り付け（オプション） 27
- 5 電源プラグの差し込み 27
- 6 試運転と水漏れの確認 27
- 7 便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合） 28
- 8 ストレーナーの掃除 29
- 9 サイドカバーの取り付け 31
- 10 配管カバーの取り付け（手洗い付きの場合） 31

施工完了チェック・引き渡し 裏表紙

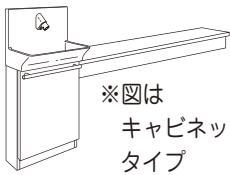
排水ジョイント接続の場合

手洗いの施工手順

または

「アラウーノ専用
手洗い」と併設

別売
手洗



※図は
キャビネット
タイプ

手洗い付き

T



手洗いの施工

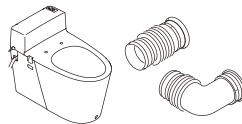
便器の施工

便器の施工手順

または

排水ジョイント接続

(排水高さ =
100 ~ 120 mm)

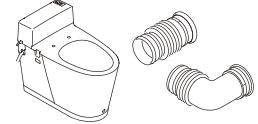


J

台輪付き

後ろ抜き

(排水高さ = 135 ~ 155 mm)



J

1 便器設置前の手順 10

1 サイドカバー・リアカバー
の取り外し 10

2 排水導入管 A の取り付け 11

3 給水ホース（下側）の
取り付け 11

4 支柱パイプの取り付け 12

5 リアカバーの取り付け 12

1 止水栓の取り付け 16

2 既設便器の取り外し 16

3 床工事 16

手洗い付きの場合

6 手洗いの取り付け 22

7 コネクタの接続 23

8 給水ホース（上側）の
取り付け 23

9 排水導入管 B の取り付け 24

10 排水導入管 C の取り付け 24

4 既設排水管の切断 17

5 サイドカバーの取り外し 17

6 排水ジョイントの
取り付け 18

7 型紙の組み立てと
固定片の取り付け 19

8 排水ジョイントと
既設排水管の接続 20

9 便器の取り付け 21

台輪施工説明書（オプション）

6ページ1 既設排水管の切断

↓

12ページ7 便器の取り付け

※「アラウーノ専用手洗い」に付属の

施工説明書を参照

「アラウーノ専用手洗い」と併設の場合

共通

共通の施工手順 25~31ページ

1 止水栓への接続 25

2 便座の取り付け 26

3 リモコンホルダーの取り付け（オプション） 26

4 リモコンの取り付け（オプション） 27

5 電源プラグの差し込み 27

6 試運転と水漏れの確認 27

• 低水圧地域の場合（手洗い吐水と便器洗浄のタイミングの変更）
(手洗い付きの場合) 28

7 便器洗浄水量の調節（市町村指定の場合） 28

8 ストレーナの掃除 29

• 施工後、長期間使用しない場合（便器内部の水抜き） 30

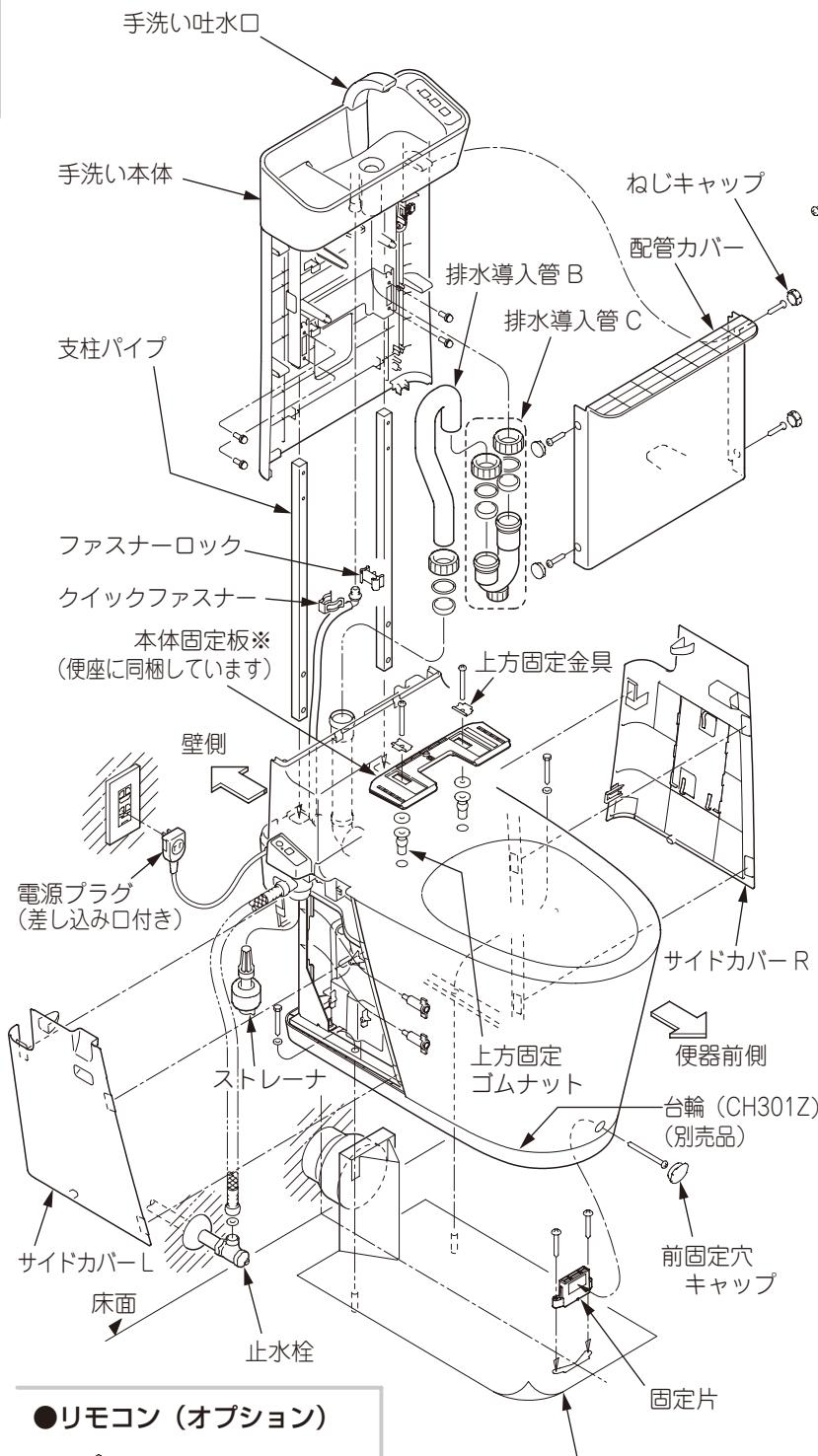
9 サイドカバーの取り付け 31

10 配管カバーの取り付け（手洗い付きの場合） 31

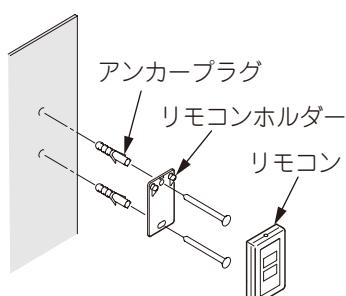
施工完了チェック・引き渡し 裏表紙

▶各部のなまえ

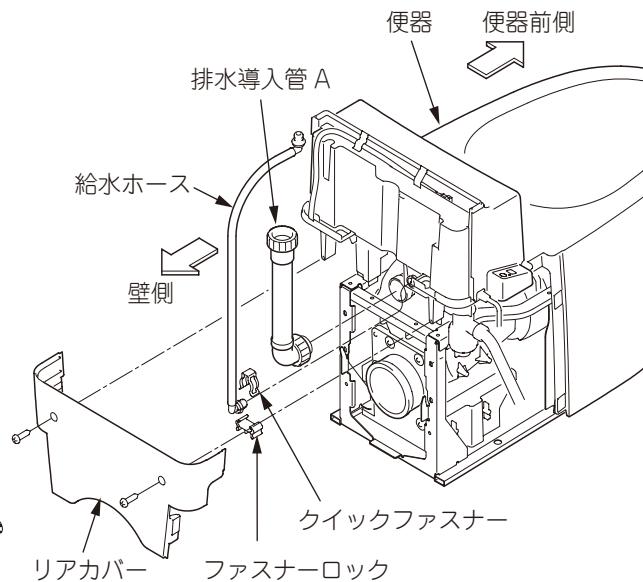
●手洗い付きのイラストで説明しています。



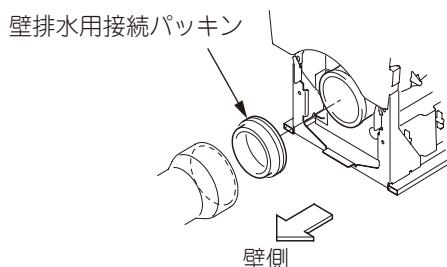
●リモコン(オプション)



※当社「ビューティ・トワレ」の場合

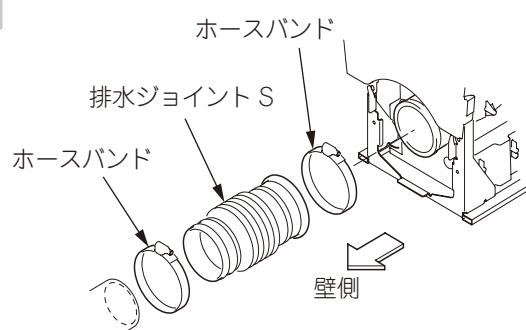


後ろ抜き

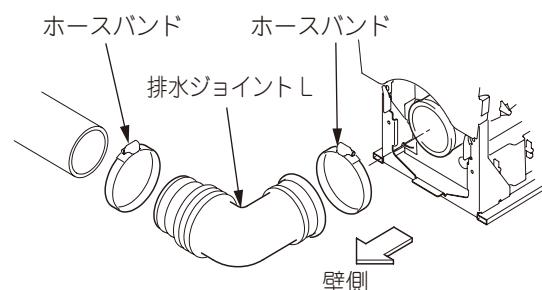


排水ジョイント接続

■排水ジョイントS (CHHP82S)



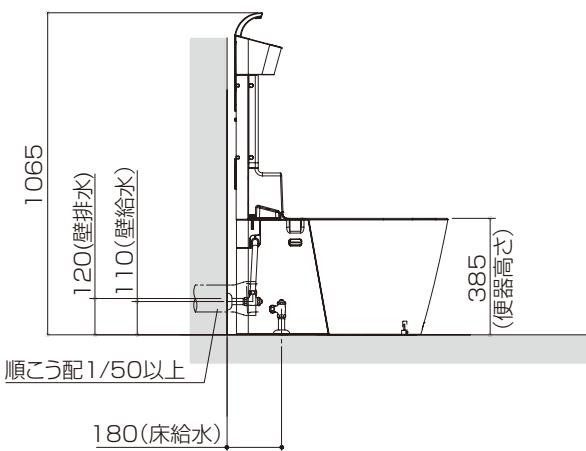
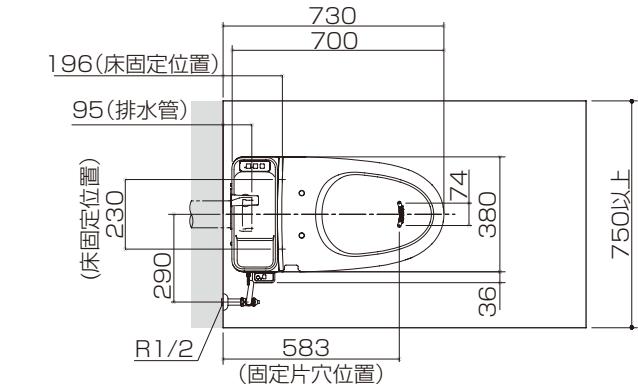
■排水ジョイントL (CHHP80L)



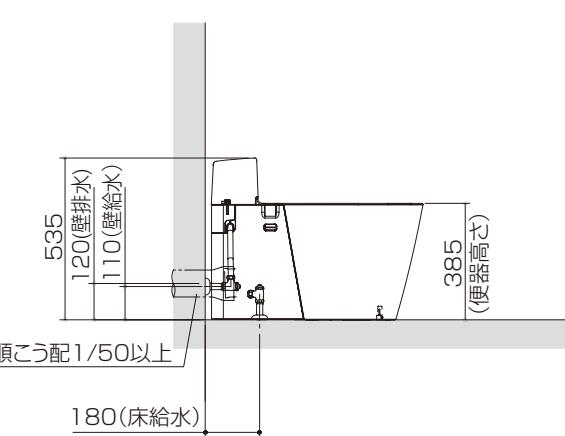
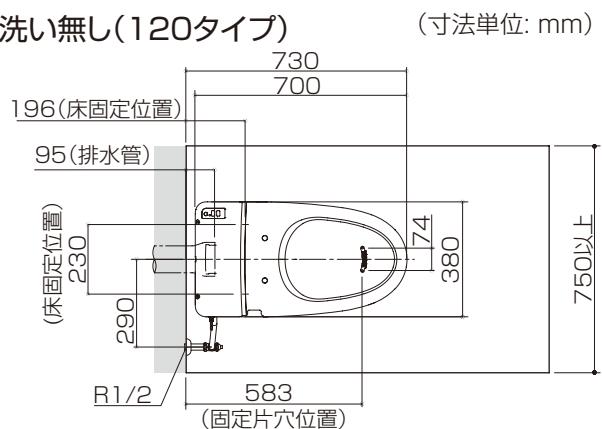
▶寸法図

後ろ抜き：寸法図

● 手洗い付き(120タイプ)

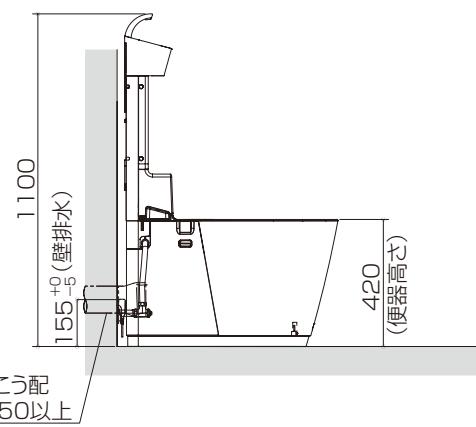
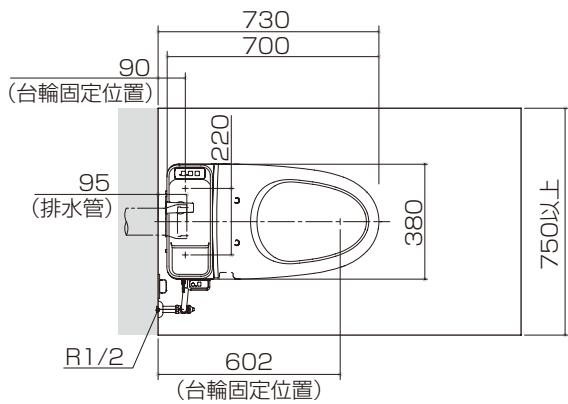


● 手洗い無し(120タイプ)



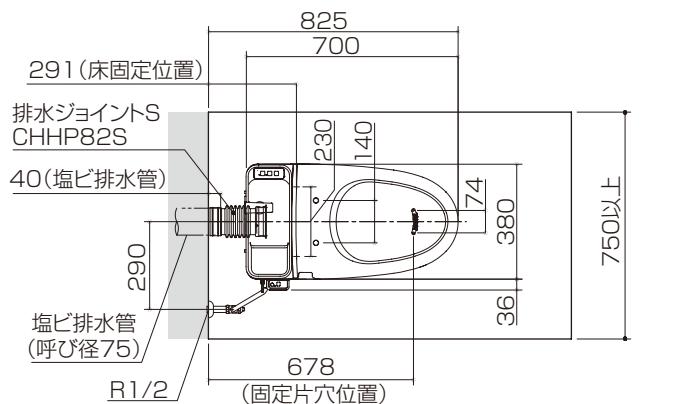
後ろ抜き：寸法図

● 手洗い付き(155タイプ)

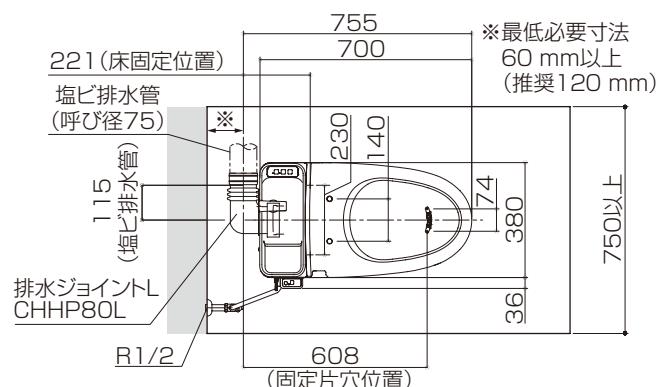


排水ジョイント接続：寸法図

● 手洗い付き(排水ジョイントS)



● 手洗い付き(排水ジョイントL)



※給水位置は既設の位置をご確認ください。

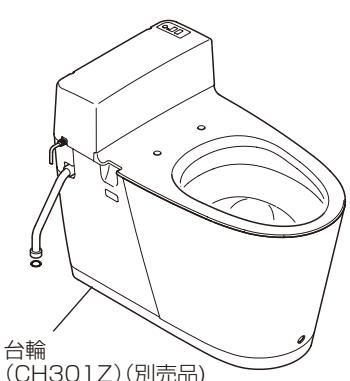
▶部品の確認

● 施工前に部品数量を確認してください。また品質に支障のある損傷がないか確認してください。

便器

▶便器

便器 (給水ホース・ パッキン付き)	手洗い付き (品番: CH3010PWST)	いずれか 1個
		

便器 (給水ホース・ パッキン付き)	手洗い無し (品番: CH3010PWS)	いずれか 1個
		

▶便座固定金具セット

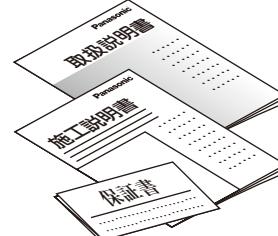
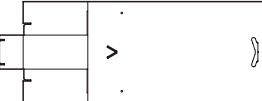
- 取り付け方は、便座の施工説明書をご参照ください。
専用便座以外はこの部品は使用しません。
(それぞれの便座に同梱の部品をご使用ください。)

上方固定金具		2個
上方固定パッキン		2個
なべ小ねじ (M6×50 mm)		2本
上方固定ゴムナット		2個
ゴムスペーサー		1個

▶接続パッキン

壁排水用接続パッキン		1個
------------	--	----

▶説明書セット

取扱説明書		1部
施工説明書(本書)		1部
保証書		1部
壁排水用型紙		1枚

▶便器取付ねじセット

アプセットタッピンねじ (φ6×45 mm) * 1		2本
平座金 (6×16×1.0 mm) * 1		2個
トラスタッピンねじ (φ5×35 mm) * 1		2本
なべタッピンねじ (φ5×60 mm)		1本
固定片		1個
前固定穴キャップ		1個

* 1…155タイプで台輪セットを使用する場合、この部品は使用しません。台輪セットに同梱のねじを使用してください。

止水栓 (給水) (CH301FPに同梱)

▶止水栓セット

止水栓本体(呼び13)		1個
給水管		1本
わん座		1個

わん座

排水ジョイント(別売品)

▶排水ジョイント

排水ジョイントS (品番: CHHP82S)		1セット
排水ジョイントL (品番: CHHP80L)		1セット

手洗い部

▶手洗い本体

手洗い本体		1個
支柱パイプ		2個

台輪セット(別売品)(CH301Z)

台輪			1個
台輪ねじセット	トラスタッピンねじ ($\phi 4.5 \times 50$ mm)		3本
	トラスタッピンねじ ($\phi 5 \times 70$ mm)		2本
	アプセットタッピンねじ ($\phi 6 \times 80$ mm)		2本
	平座金 (6 × 16 × 1.0 mm)		2本
	施工説明書		1冊

リモコン(オプション)(CH300S)

▶リモコンセット

リモコン		1個
リモコンホルダー		1個
単4マンガン乾電池		2本
皿ねじ ($\phi 3.5 \times 16$ mm)		2本
皿ねじ ($\phi 3.5 \times 38$ mm)		2本
アンカーブラグ		2本

給水ホース		1本
-------	--	----

▶ねじセット

なべ小ねじ (ばね座金・平座金付き) (M5 × 12 mm)		4セット
つまみ付ボルト (M5 × 35 mm)		4本
なベタッピンねじ ($\phi 4 \times 20$ mm)		4本
クイックファスナー		2個

▶小物成形品セット

ファスナーロック		2個
ねじキャップ		4個

▶安全上のご注意

必ずお守りください

▶人への危害、財産の損害を防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図の記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

全般

- 分解や改造はしない
感電・火災・けがの原因になります。
- 浴室内など湿気の多い場所、水洗い洗浄ができる床に設置しない
感電や火災の原因になります。
- 電気のこと
 - 電源コードで便器をつり下げない
けがおよび発火や発煙の原因になります。
 - 便器や手洗いの操作部、電源プラグに水や汚水をかけない
 - むれた手で電源プラグを触らない
感電・火災・けがの原因になります。
 - 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントを使用しない、また電源コードを破損するようなことはしない
感電・火災・けがの原因になります。
 - 給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない
感電や火災のおそれがあります。



禁 止



禁 止

電気のこと(つづき)

- 便器を取り付けるときは、電源コードをはさみ込まない
火災や感電の原因になります。



必ず守る

全般

- 必ず施工説明書に従って施工する
感電・火災・けがの原因になります。

電気のこと

- 必ず交流100Vで使用する
- コンセントや配線器具は必ず定格内で使用する
たとえ配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電池のこと[リモコン(オプション)]

- 電池の+、-を正しく入れる
取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。
- 漏電・火災・水漏れの防止
● 電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う
漏電・火災・水漏れの原因になります。

⚠ 注意

全般

- 給水ホースや便器給水部、排水管、手洗い吐水口などに力を加えない
水漏れの原因になります。
- 便器・手洗いに固いものや重いもの、とがったものを落としたり、当たりしない
変形・破損によるけがの原因になります。



禁 止

水漏れ防止

- 止水栓を開いたままストレーナを外さない
水が噴き出し拡大損害になります。



禁 止

洗剤・薬品のこと

- 便器のお手入れには下記洗剤を使用しない
製品が割れたりけがをしたり、製品内部が露出し、感電の原因になります。
【使用してはいけない洗剤】
 - 台所用合成洗剤(中性)、アラウーノフォーム(便器外側のみ使用不可)
 - 酸性・アルカリ性洗剤*1
 - 重曹、アルコールを含む洗剤*2
 - トイレ掃除用ペーパー*3
 - オレンジオイルを含む洗剤
 - 柑橘系の香りを有する洗剤
 - 消臭剤
 - 滴下するタイプの消臭液
 - シンナー、ベンジン、消毒薬、その他薬品

*1…湿布法(取扱説明書19ページ)でお手入れを行う場合は使用可能です。

*2…エタノール、イソプロピルアルコールなど

*3…花王製トイレクリーナーは使用可能です。(当社試験により確認済み)

⚠ 注意



必ず守る

水漏れ防止

- 水道工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行う
- 給排水接続は必ず正しい方法で施工する
- 必ず1/50以上の十分な排水勾配をとる
- 床面は、水平に施工する
- 給排水の接続には必ず同梱のパッキンを使用する
- 止水栓にがたつきがないことを確認する
- 必ず商品に同梱の指定のねじを使用する
- 便器ががたつきがないことを確認する
- ねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする
- ストレーナふたをしっかりと締めつける
水漏れの原因になります。
- 排水管の奥まで十分に差し込み接続する
水漏れで家財などをぬらすおそれがあります。
- 施工後必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する
水漏れによる拡大損害の原因になります。



必ず守る

凍結防止

- 設置後、しばらく使用せず、凍結のおそれがある場合は、水抜きや不凍液を入れるなどの凍結防止をする
破損・水漏れの原因になります。
- 寒冷地以外の地域においても、屋外配管・露出配管については凍結防止ヒーターを取り付けるなどの適切な凍結予防対策を実施する

冬場周囲温度が0℃以下になると、凍結し、機器や配管が破損したり水漏れの原因になります。

▶取り付け前の確認

公的機関の確認事項

- 一部特定の地域では設置できない場合や水道事業者の承認が必要な場合があります。当社営業所、または販売店にご相談ください。
- パナソニック製便器は不燃材ではありません。設置の場合は、消防法関連法令および告示などに基づき設置してください。

給排水設備工事に関する注意事項

- この製品は上水道でのみご使用いただけます。
- 水洗便器の施工に際しては、下水道への放流の場合、自治体の指定業者でなければできませんのでご注意ください。
当社営業所、または販売店にご相談ください。
- 使用水圧範囲は、0.05 MPa（流動時）～0.75 MPa（静止時）です。
最低使用水圧未満で使用した場合は洗浄水が十分に流れず便器に汚物が残ったり、便器洗浄性能を損なったり封水が確保できなくなるおそれがあります。必ず指定の水圧範囲内でご使用ください。
- 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合の使用水圧範囲は、0.1 MPa（流動時）～0.75 MPa（静止時）です。
- 便器洗浄水量（流動時0.2 MPa時）

モード	大洗浄	小洗浄
標準モード(出荷時)	4.6 L	3 L
增量モード1	5.7 L	3 L
增量モード2	8 L	3 L

- キッチンなど他の蛇口を開いたり、便器洗浄と手洗いの水を同時に使用した場合、洗浄流量が下がります。
低水圧環境下での使用で、便器洗浄水の流れが弱い場合や手洗いから水が出ない場合は、手洗い吐水のタイミングを変更してください。(28ページ参照)

向かって右に給水位置がある場合

- オプションの延長給水ホースが必要となります。

長さ	品番
1 m	CH100R01

※右給水の場合、50 cmの延長給水ホース(CH100R02)では長さが足りません。

電気工事に関する注意事項

- 以下の仕様の場合は必要なコンセントの数が変わります。

仕様	必要なコンセントの数	
「アラウーノ専用手洗い」と併設	自動水栓	2個

- 便器用電源プラグは差し込み口付きです。
差し込み口の使用容量は1400 Wまでです。
- 第3種接地工事が必要な機器を接続する場合は、別途アース線の接続が必要です。
- 製品コードの長さは1 mです。

その他

- 同室で2台以上並べて設置される場合、隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(有料)
- リモコンからの信号は、天井および壁に反射して便器に受光されますので、リモコンや便器受光部の上部に棚やカウンター・温水洗浄便座のリモコンなどを設置しないでください。
- リモコンは指定の範囲内に取り付けてください。
- 次のような場合、リモコンが作動しにくい場合があります。
【直射日光がリモコン受光部・発光部にあたっている場合】
直射日光をカーテンなどで遮断してください。
【インバータ照明など特定の照明をご使用の場合】
照明を消すと正常に動作する場合は、照明器具の交換をご検討ください。
- 壁紙や天井が黒色や濃い色の場合、リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。製品の納入前に必ず現場をご確認ください。
- 製品の使用温度範囲は0～40℃です。必ず指定の温度環境で設置してください。
- 手洗い付きの場合、施工完了後は必ず手洗い通水し、封水してください。
- 扉開閉時に扉が便器に当たらない位置に設置してください。
- 必ず指定の止水栓をお使いください。止水栓は壁給水・床給水兼用です。
- トイレ用床材(木質床材、クッションフロアなど)の選定に当たっては、耐水・耐アンモニア性などに十分ご配慮ください。床に滴下した小便が便器と床材のすき間に進入し床にシミが発生することがあります。
- 直射日光や強いライトが製品にあたる位置への設置はお避けください。製品が変色したり劣化したりするおそれがあります。

「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合

- 「アラウーノ専用手洗い」と併設する場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

⚠ 警告



- 分解や改造はしない

感電・火災・けがの原因になります。



- 必ず施工説明書に従って施工する

感電・火災・けがの原因になります。

手順 1

便器設置前の手順

- 右記の ① ~ ⑤ は「アラウーノ専用手洗い」に付属の説明書を参照してください。
- ① 「アラウーノ専用手洗い」を壁に据え付ける
 - ② 給水管・排水管を「アラウーノ専用手洗い」に取り付ける
 - ③ 便器のリアカバーを外し、指定の位置を切り欠く
 - ④ 排水導入管を便器に取り付ける
 - ⑤ リアカバーを取り付ける

U 後ろ抜きの場合→13ページ / J 排水ジョイント接続の場合→16ページ

T

手洗いの取り付け(手順1~5)

- 手洗い付きの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

⚠ 警告



- 分解や改造はしない

感電・火災・けがの原因になります。



- 必ず施工説明書に従って施工する

感電・火災・けがの原因になります。

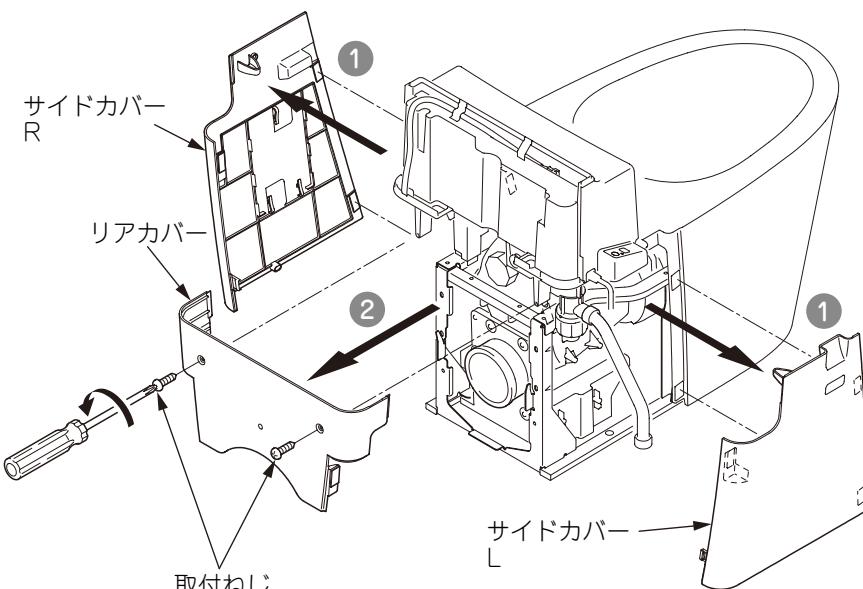
手順 1

サイドカバー・リアカバーの取り外し

- ① サイドカバーの取っ手に手を掛けて引き、サイドカバーを取り外す
- ② 取付ねじ 2か所 を緩めて外し、リアカバーを取り外す

お願い

- 外したねじを無くさないでください。
「手順5」でリアカバーの取り付けに使用します。 [12ページ参照]



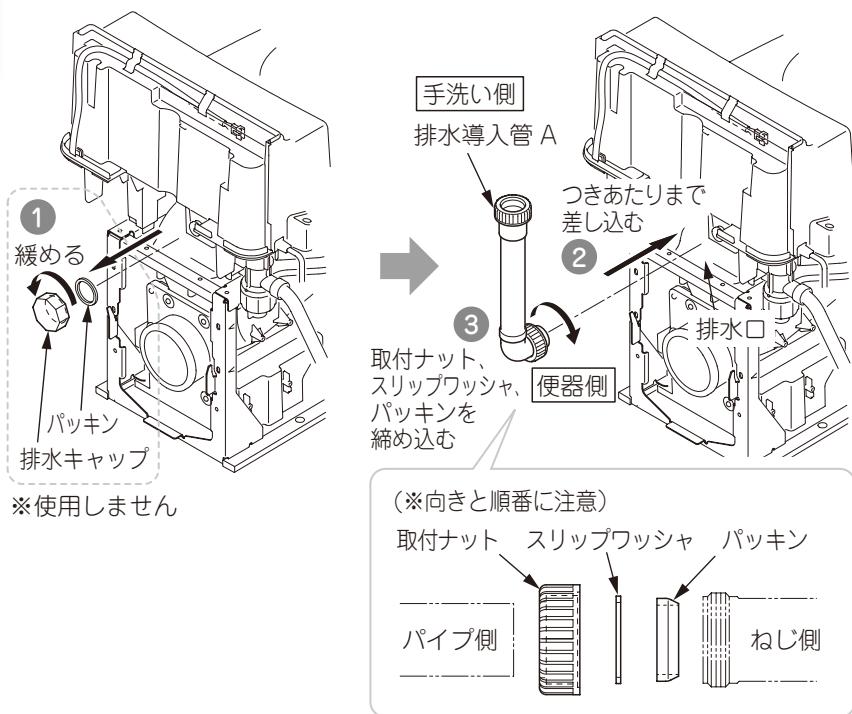
手順 2

排水導入管Aの取り付け

- ① 便器背面の排水キャップとパッキンを緩めて外す
(取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。)
(外しにくい場合は工具を使ってください。)
- ② 排水導入管Aの便器側を排水口に差し込む
- ③ 取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを締め込み固定する

！ 注意

- スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む
水漏れの原因になります。
- 排水導入管Aを、つきあたりまで確実に差し込む
水漏れやリアカバーが閉まらないなどのおそれがあります。



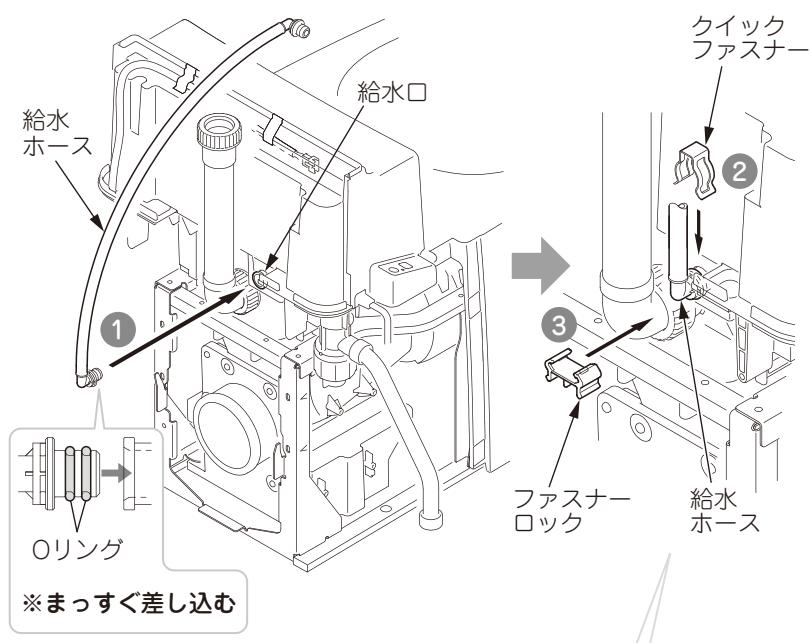
手順 3

給水ホース(下側)の取り付け

- ① 給水ホースを便器の給水口に差し込む

！ 注意

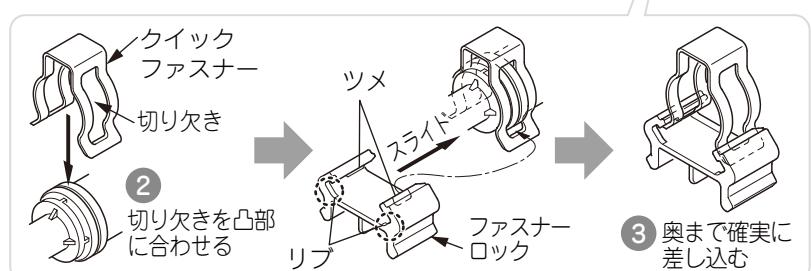
- Oリングに汚れがついていたり、ねじれていたりしないか確認する
- Oリングがかまないように給水ホースをまっすぐに差し込む
水漏れの原因になります。



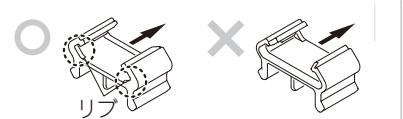
- ② クイックファスナーの切り欠きを給水ホース接続部の凸部にはめ込む
- ③ ファスナーロックをクイックファスナーの奥まで確実に差し込む

！ 注意

- クイックファスナーおよびファスナーロックを確実に差し込み、給水ホースが抜けないことを確認する
水漏れの原因になります。

**ポイント**

- ファスナーロックは、リブ(突起部)の反対側から取り付けてください。

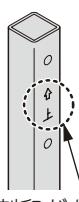


手洗いの取り付け

手順4 支柱パイプの取り付け

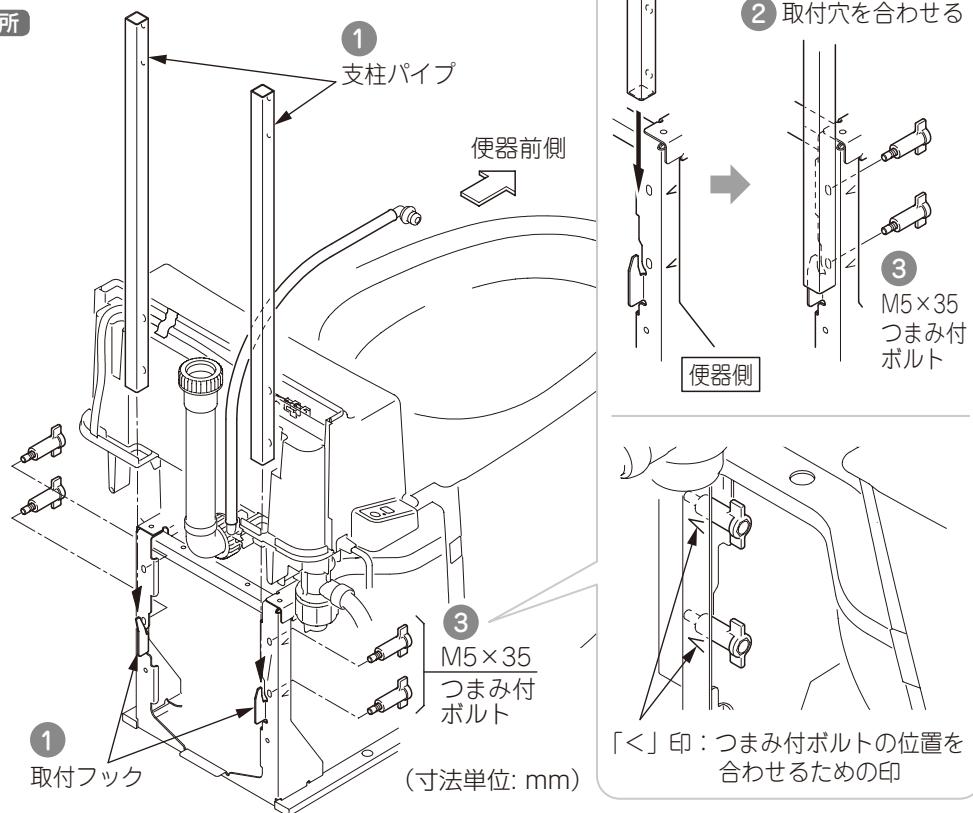
- ① 支柱パイプを取付フックに差し込む
- ② 支柱パイプと便器側の取付穴を合わせる
- ③ 「<」刻印の位置につまみ付ボルト M5×35 mm で仮固定する 4か所

ポイント

- 支柱パイプは「上」刻印がある方を上にして差し込んでください。
- 
- 「上」刻印がある方

お願い

- 床などを傷つけないよう注意して作業してください。



手順5 リアカバーの取り付け

- ① リアカバーを元の位置に合わせる
- ② リアカバーを「手順1」で外したねじで取り付ける 2か所 [10ページ参照](#)

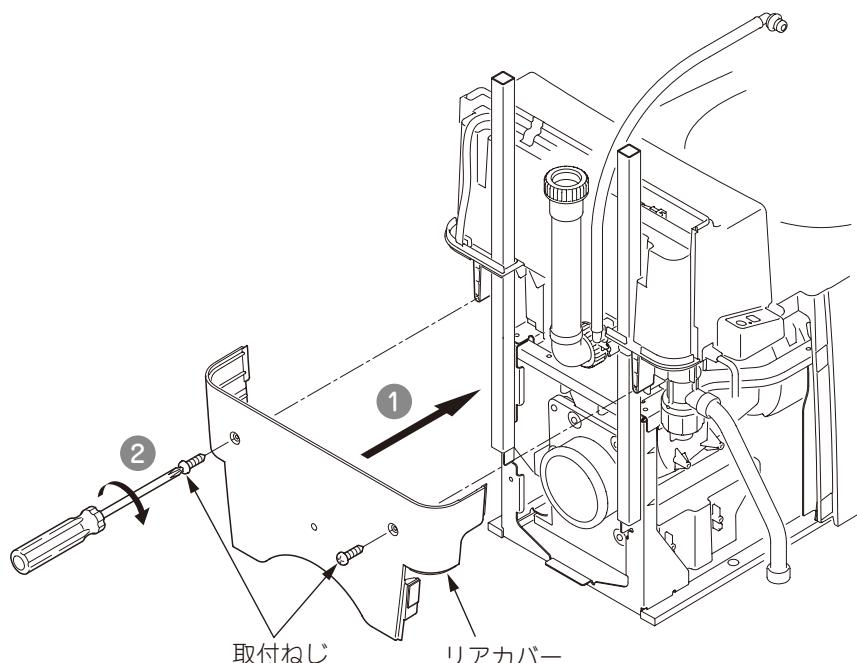
お願い

- 取り付けには電動ドリルドライバーを使用しないでください。
強いトルクで締めつけると破損の原因になります。

リアカバーが取り付かない場合

- 排水導入管Aが、排水口のつきあたりまで確実に差し込まれているか確認してください。

[11ページ参照](#)



U

後ろ抜きの場合

⚠ 警告



- 分解や改造はしない
感電・火災・けがの原因になります。



- 必ず施工説明書に従って施工する
感電・火災・けがの原因になります。

手順 1

配管工事(止水栓の取り付け)

(寸法単位: mm)

⚠ 注意



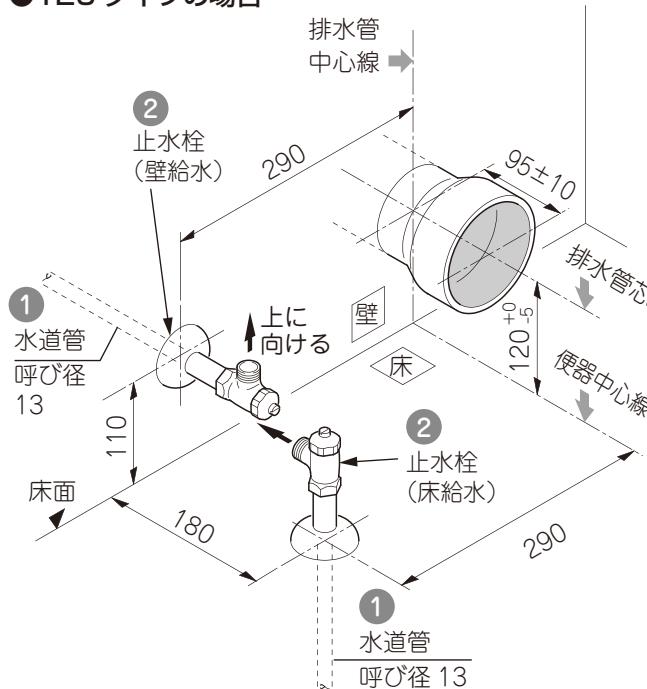
- 必ず1/50以上の十分な排水勾配をとる
- 止水栓にぎたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

- ① 給水位置まで水道管を設置する
- ② 同梱の止水栓を取り付ける

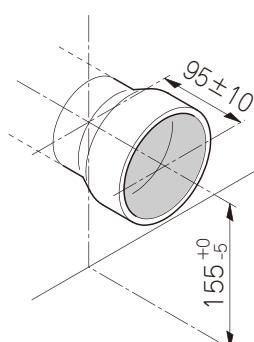
お願い

- 必ず、同梱の止水栓を使用してください。
他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損う原因になります。

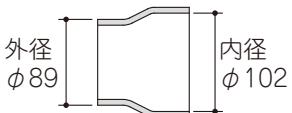
● 120 タイプの場合



● 155 タイプの場合



● 一般的な便器用排水管 (ベンド管)



お願い(155タイプの場合)

- 155タイプの床給水の場合は長さ90 mm～130 mmの給水管を別途手配してください。
- 155タイプの給水位置については台輪の施工説明書(別紙)をご確認ください。

手順 2

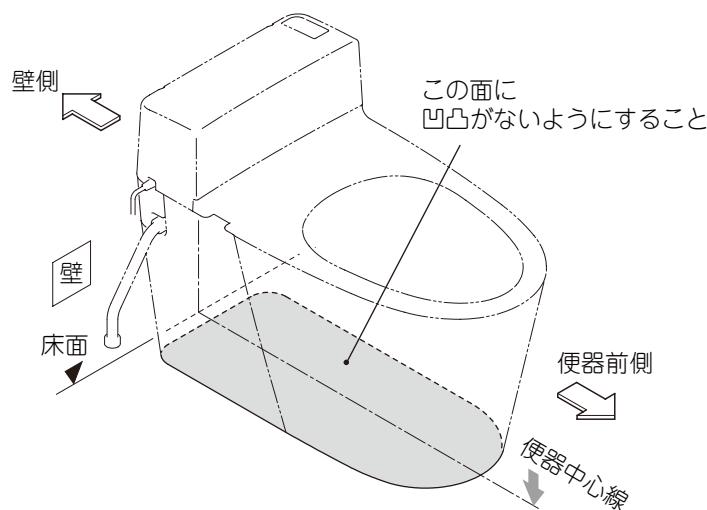
床工事

- ① 床面を水平に仕上げる

⚠ 注意



- 床面は、水平に施工する
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。



後ろ抜き

120 タイプ の場合

下記の手順に従って施工してください。



155 タイプ の場合

台輪の取り付けが必要です。

詳細は台輪の施工説明書2~5ページ(2~7)を参照してください。

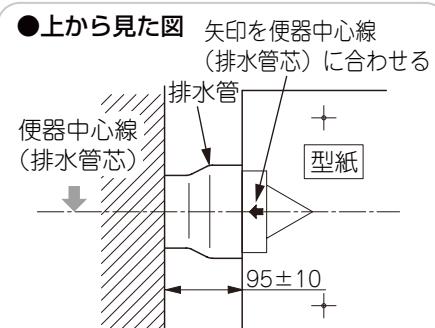
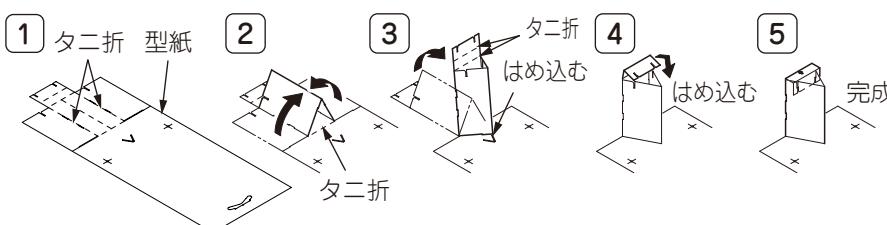
ねじ固定前に下穴(Φ3程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカープラグを使用する。)

手順 3

型紙の組み立てと固定片の取り付け

(寸法単位: mm)

- ① 型紙を折り目に沿って折り、組み立てる



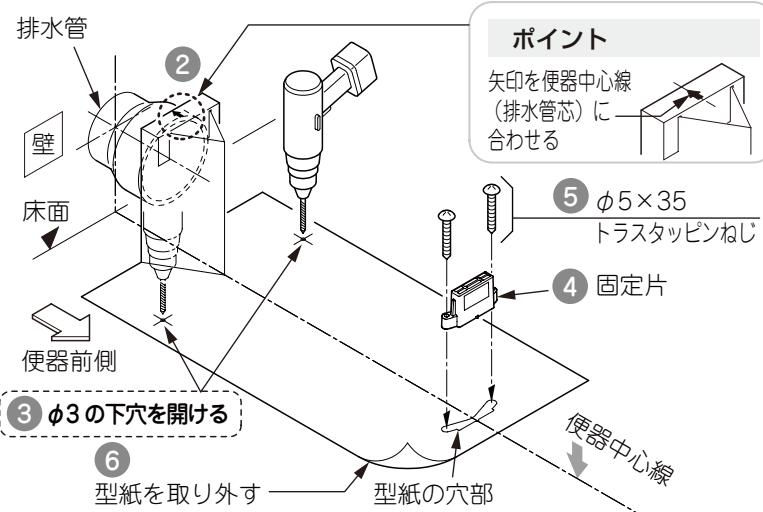
- ② 排水管の先端に型紙を合わせる

- ③ 床固定位置(型紙の+部)にΦ3 mmの下穴を開ける
2か所

- ④ 固定片を型紙の切り欠き部に合わせる

- ⑤ 固定片をトラスタッピンねじ $\phi 5 \times 35 \text{ mm}$ で
固定する 2か所

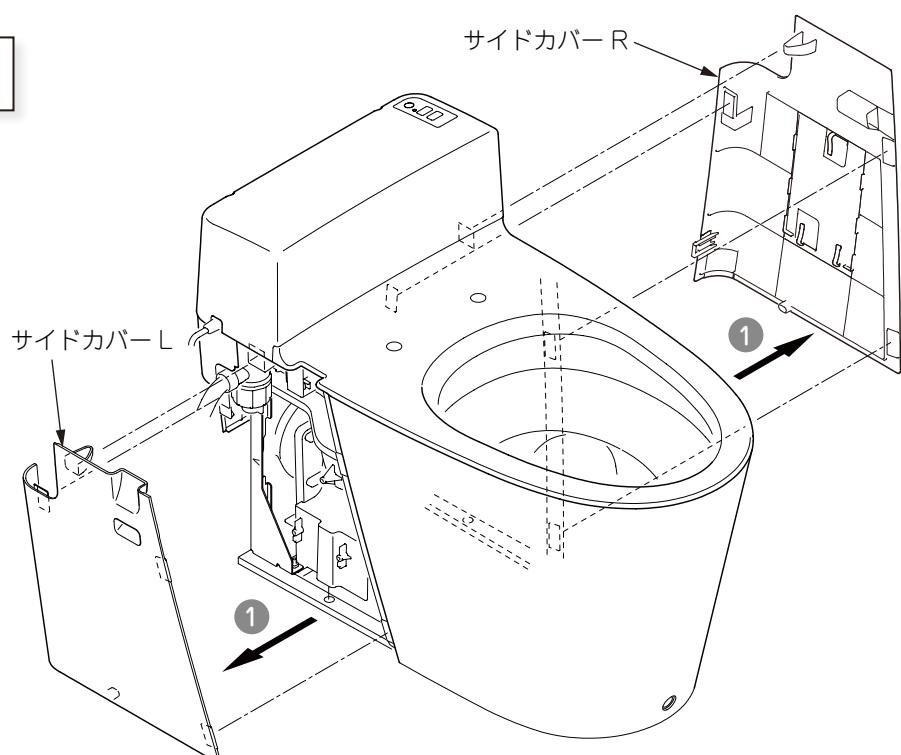
- ⑥ 型紙を取り外す



手順 4

サイドカバーの取り外し

- ① サイドカバーの取っ手に手をかけて引き、
サイドカバーを取り外す



手順 5

接続パッキンの取り付け

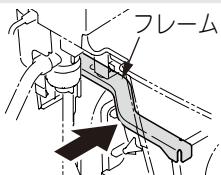
! 注意



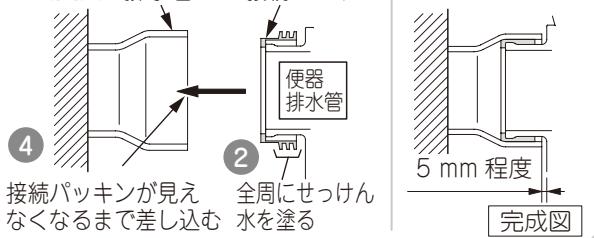
- 排水管の奥まで十分に差し込み接続する
水漏れで家財などをぬらす
おそれがあります。

便器の持ちかた

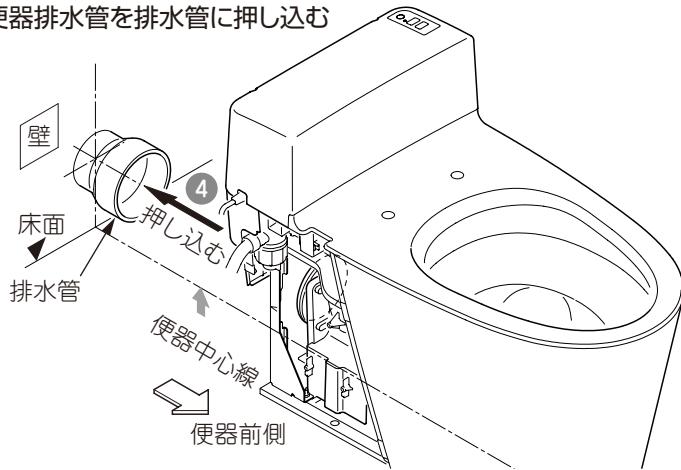
- 便器を持つときは
このフレームに両側
から手を掛けて
持ち上げてください。



● 断面図 排水管 接続パッキン



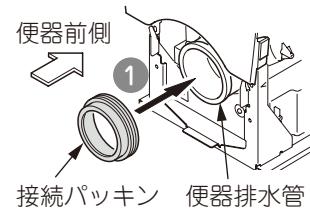
- 1 便器排水管に接続パッキンを取り付ける
- 2 接続パッキンの蛇腹部全周にせっけん水を塗る
- 3 延長給水ホースを使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
- 4 便器排水管を排水管に押し込む



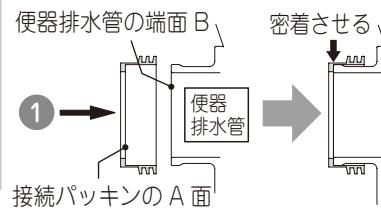
ポイント

- 便器排水管の端面Bと接続パッキンのA面が密着するまで差し込んでください。

● 背面から見る



● 断面図



手順 6

便器の取り付け

! 警告



- 便器を取り付けるとき、
電源コードをはさみ込まない
火災や感電の原因になります。

! 注意



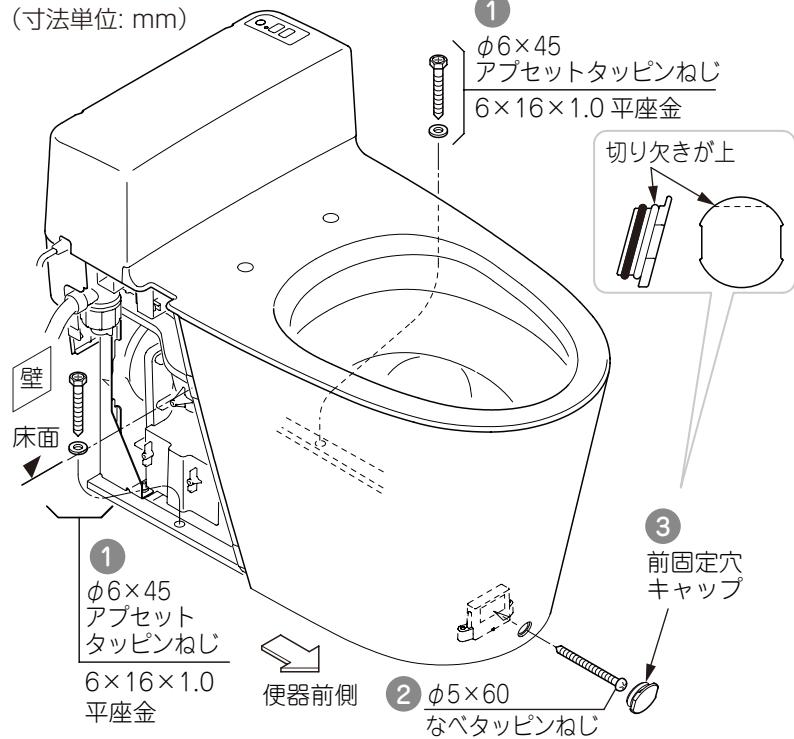
- 便器ががたつきがないことを
確認する
水漏れの原因になります。

ポイント

- 便器と床のすき間がなくなるまでアセットタッピンねじを締めつけてください。
- 床上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けしづらい事があります。
- 固定片の取付ねじは破損しないようゆっくりと締めつけてください。

- 1 下穴位置を確認し、便器を床にアセットタッピンねじ $\phi 6 \times 45 \text{ mm}$ と平座金 $6 \times 16 \times 1.0 \text{ mm}$ で固定する 2か所
- 2 便器前方を固定片になべタッピンねじ $\phi 5 \times 60 \text{ mm}$ で固定する 1か所
- 3 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして便器前方にはめ込む

(寸法単位: mm)



排水ジョイント接続の場合

- 排水ジョイントは既設塩ビ排水管がVU/VP75（外径Φ89の管）の場合のみ対応できます。

手順1

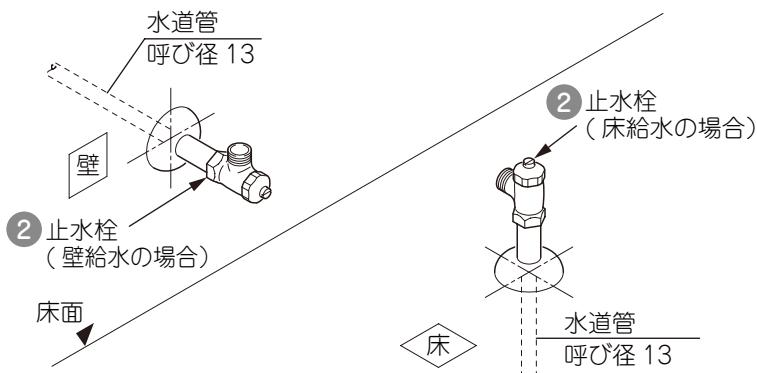
止水栓の取り付け

⚠ 注意



- 止水栓にがたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

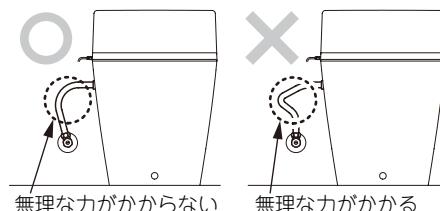
- 水道の元栓を閉める
- 既設の給水位置に同梱の止水栓を取り付ける



お願い

- 必ず、同梱の止水栓を使用してください。他の止水栓を使用すると、便器洗浄性能を損う原因になります。
- 止水栓がゆるむ方向に力がかからないよう、止水栓の向きを調節してください。
- 必ず、給水ホースが折れ曲がらないように取り付けてください。

※図は壁給水のイラストで説明しています。
※床給水の場合においても、同様に止水栓の向きにご注意ください。

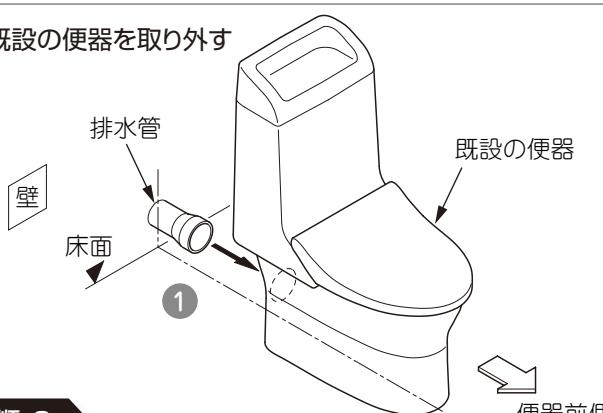


手順2

既設便器の取り外し

■ 排水ジョイントS(CHHP82S)の場合

- 既設の便器を取り外す



手順3

床工事

- 床面を水平に仕上げる

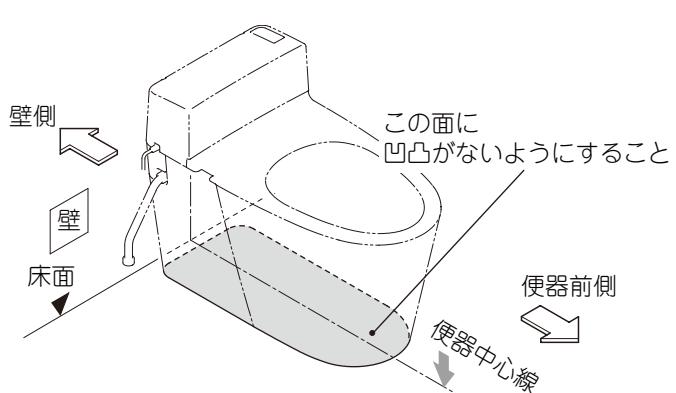
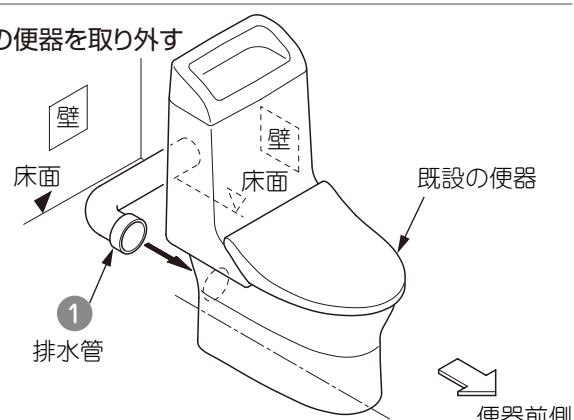
⚠ 注意



- 床面は、水平に施工する
凹凸があると便器がぐらつき、水漏れの原因になります。

■ 排水ジョイントL(CHHP80L)の場合

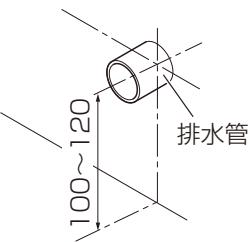
- 既設の便器を取り外す



●排水管の中心から床まで

100~120 mm

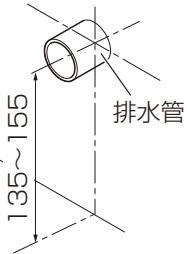
下記手順に従って施工してください。



●排水管の中心から床まで

135~155 mm

台輪の取り付けが必要です。
詳細は台輪の施工説明書6~12ページを参照してください。



(寸法単位: mm)

手順 4

既設排水管の切断

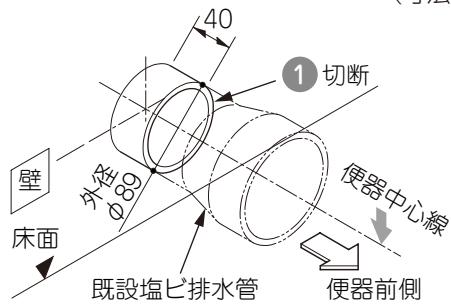
■ 排水ジョイントS(CHHP82S)の場合

- ① 既設塩ビ排水管を壁から40 mm残して切断する
- ② 切断面のバリ、汚れをきれいに取り除く

お願い

- 切断面のバリ、汚れを完全に取り除いてください。
水漏れの原因になります。

(寸法単位: mm)



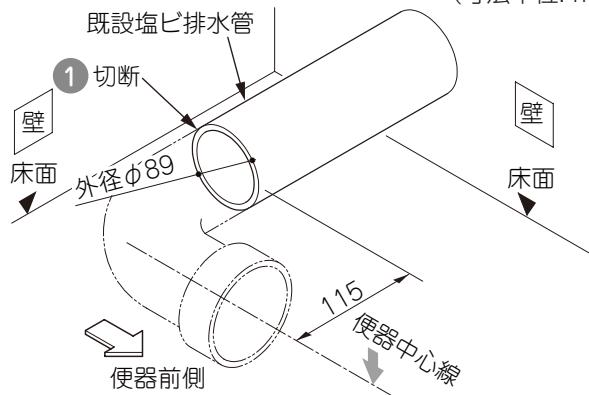
■ 排水ジョイントL(CHHP80L)の場合

- ① 既設塩ビ排水管を便器中心線から115 mmの位置で切断する
- ② 切断面のバリ、汚れをきれいに取り除く

お願い

- 切断面のバリ、汚れを完全に取り除いてください。
水漏れの原因になります。

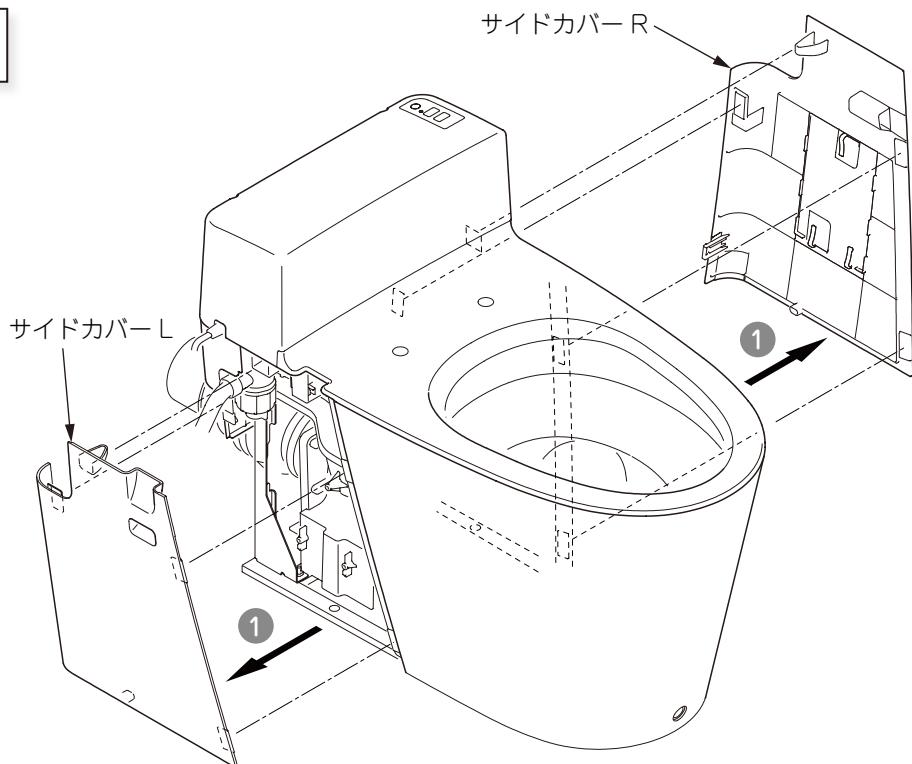
(寸法単位: mm)



手順 5

サイドカバーの取り外し

- ① サイドカバーの取っ手に手をかけて引き、
サイドカバーを取り外す

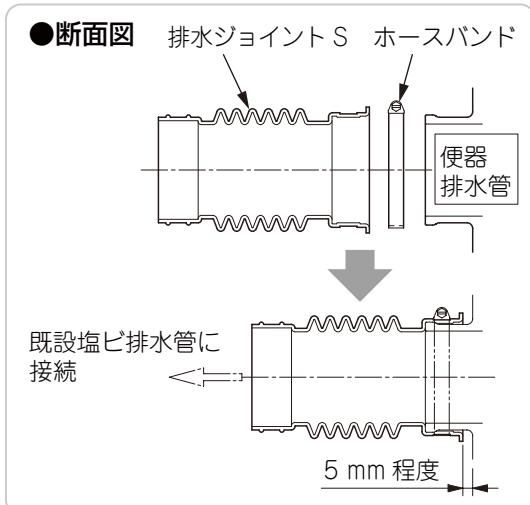


手順 6

排水ジョイントの取り付け

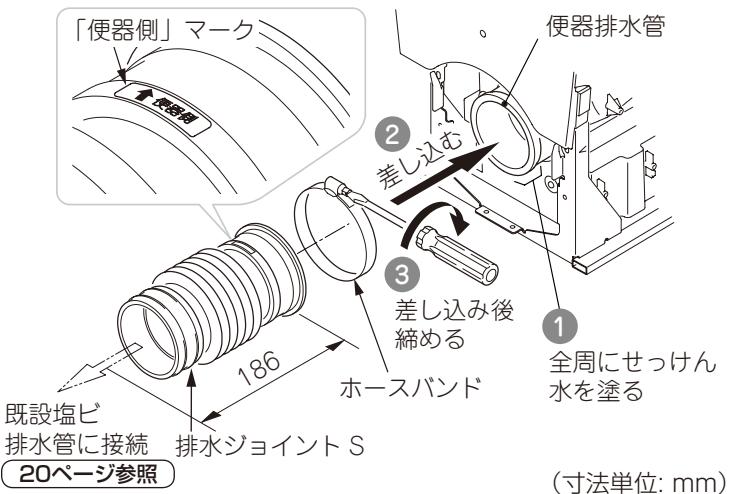
■ 排水ジョイントS(CHHP82S)の場合

- ① 便器排水管の全周にせっけん水を塗る
- ② 排水ジョイントSを便器排水管に差し込む
- ③ マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する



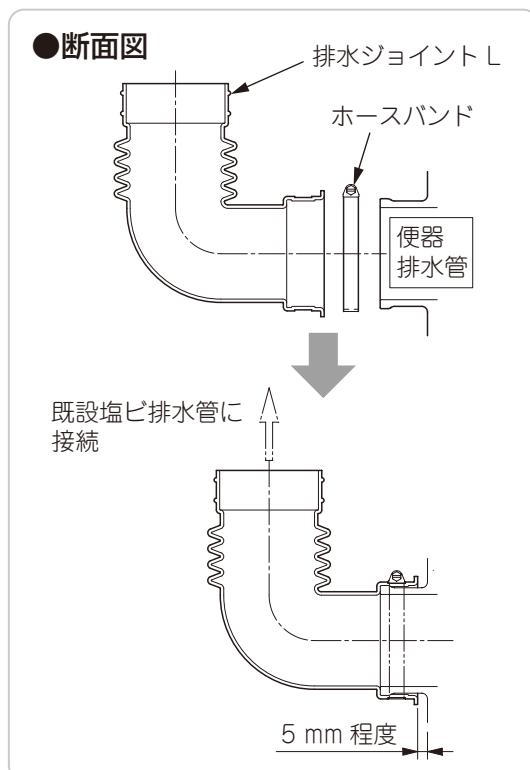
ポイント

- 「便器側」マークを便器側にし、矢印が下図の向きになるように取り付けてください。



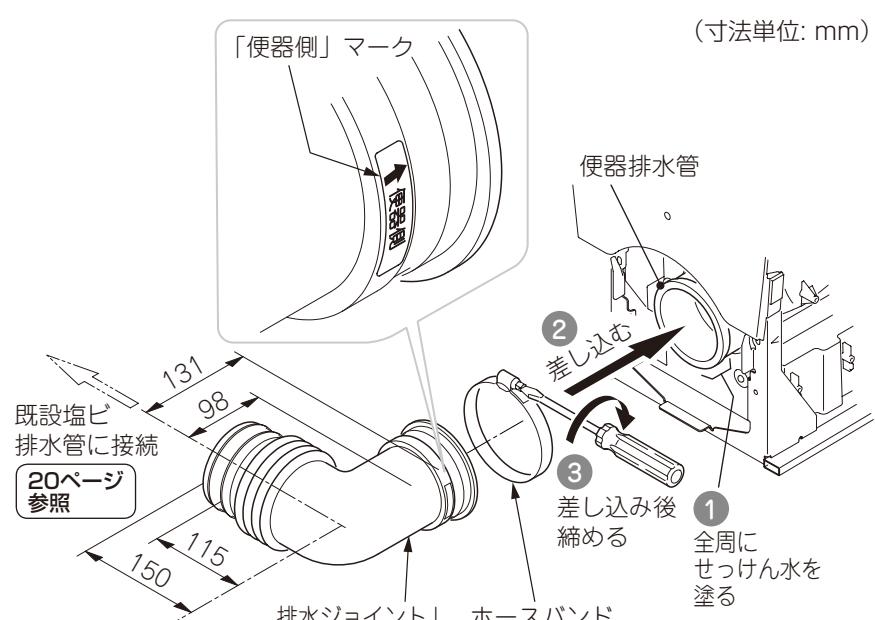
■ 排水ジョイントL(CHHP80L)の場合

- ① 便器排水管の全周にせっけん水を塗る
- ② 排水ジョイントLを便器排水管に差し込む
- ③ マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する



ポイント

- 「便器側」マークを便器側にし、矢印が下図の向きになるように取り付けてください。



ねじ固定前に下穴(Φ3 mm程度)を開けると作業しやすくなります。
(床がコンクリートやタイルの場合はそれぞれのねじ径に合うアンカーブラグを使用する。)

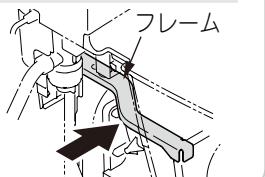
手順7

型紙の組み立てと固定片の取り付け

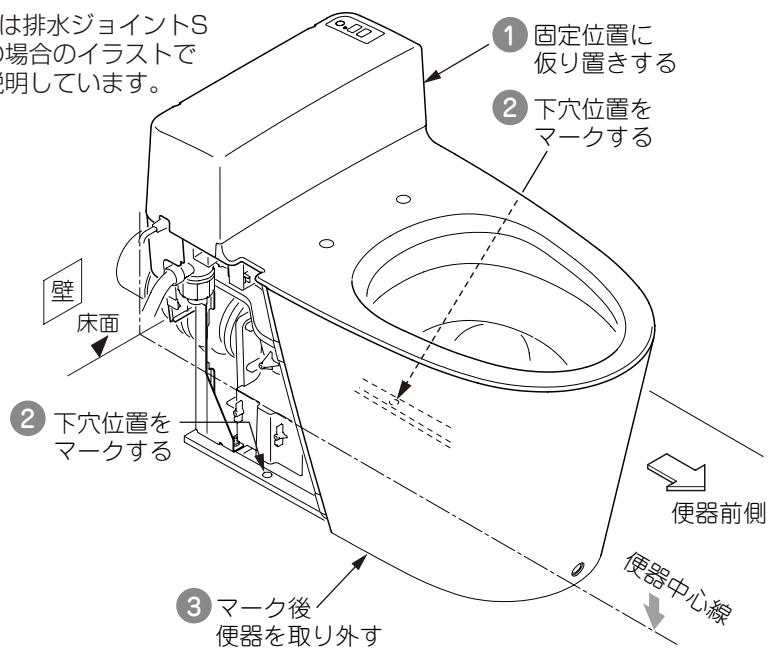
- ① 便器を固定位置に仮り置きする
- ② 下穴位置(便器フレームの取付穴)をマークする
2か所
- ③ 便器を取り外す

便器の持ちかた

- 便器を持つときはこのフレームに両側から手を掛け持ち上げてください。



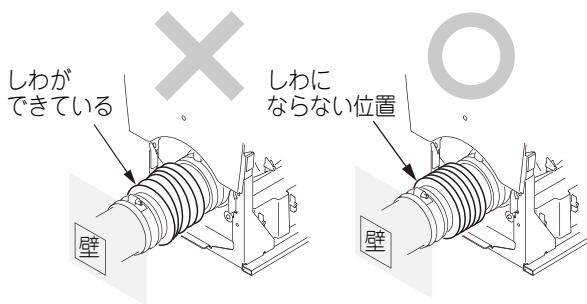
※図は排水ジョイントSの場合のイラストで説明しています。



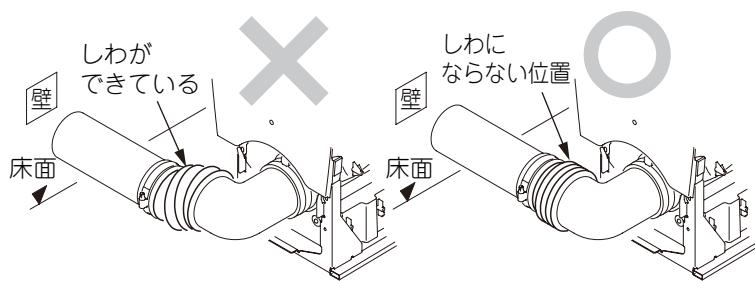
ポイント

- 排水ジョイントがしわにならない位置を固定位置に決めてください。

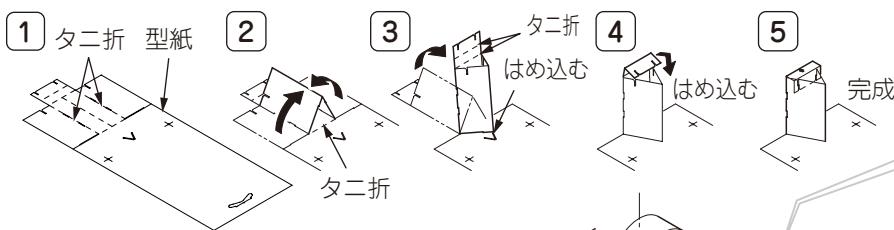
● 排水ジョイントS (CHHP82S)の場合



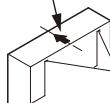
● 排水ジョイントL (CHHP80L)の場合



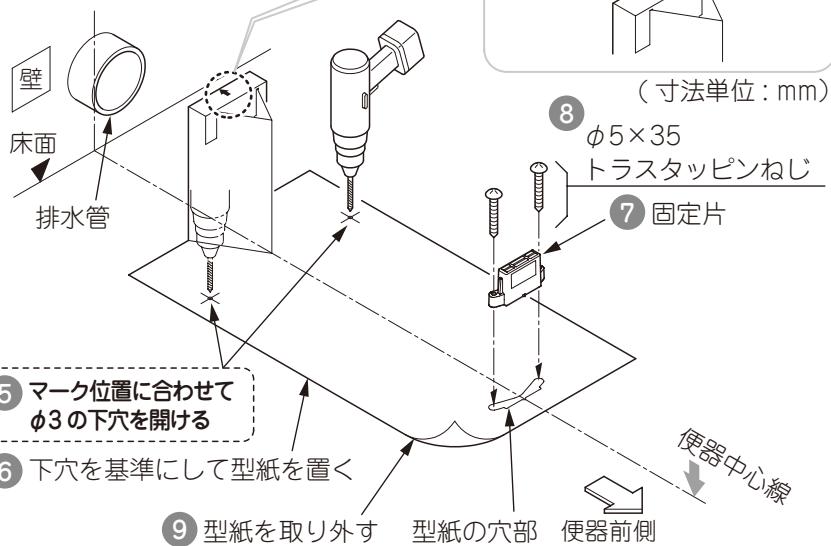
4 型紙を折り目に沿って折り、組み立てる



ポイント
矢印を便器中心線(排水管芯)に合わせる



(寸法単位: mm)



5 ②でマークした便器取り付け穴に、型紙の下穴用の穴を合わせて型紙を置き、Φ3の下穴を開ける 2か所

6 下穴(便器取付用) 2か所 を基準にして型紙を置く

7 固定片を型紙の切り欠き部に合わせる

8 固定片をトラスタッピングねじ φ5×35 mm で固定する 2か所

9 型紙を取り外す

手順 8

排水ジョイントと既設排水管の接続

! 注意



必ず守る

- 必ず1/50以上の十分な排水勾配をとる
水漏れの原因になります。

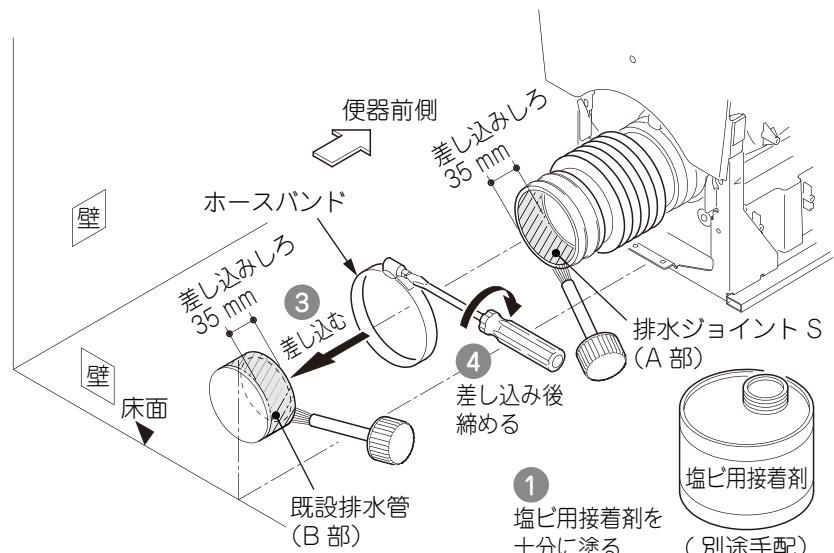
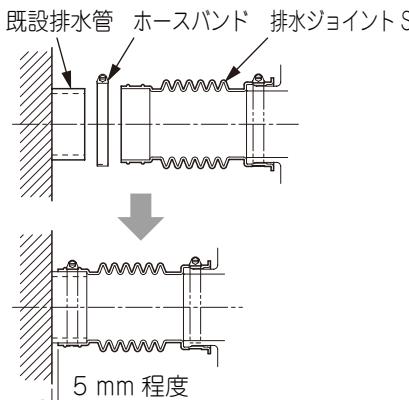
■ 排水ジョイントS(CHHP82S)の場合

- 1 塩ビ用接着剤を、排水ジョイントS差し込み部(A部)内周および既設排水管の差し込み部(B部)外周に十分に塗る(塩ビ用接着剤は別途手配ください。)
- 2 延長給水ホースを使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
- 3 排水ジョイントSを既設排水管に差し込む
- 4 マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する

お願い

- 排水ジョイントにしわやねじれがないようにしてください。
水漏れの原因になります。

●断面図



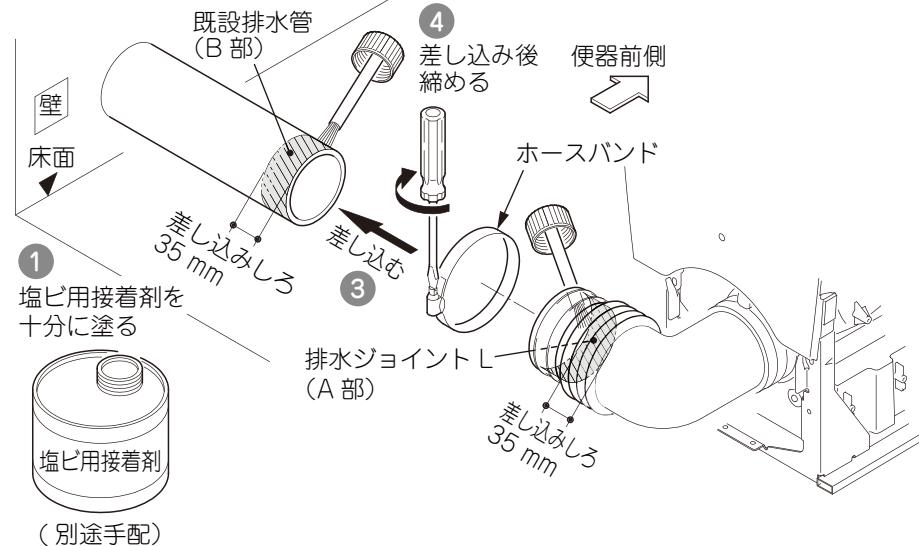
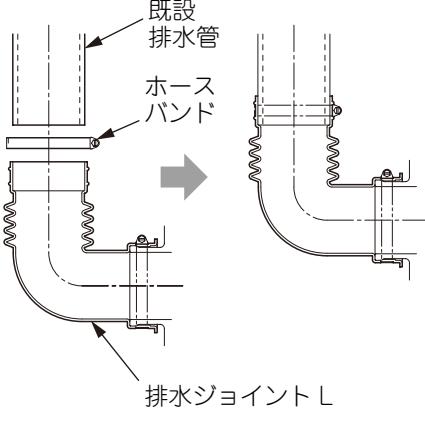
■ 排水ジョイントL(CHHP80L)の場合

- 1 塩ビ用接着剤を、排水ジョイントL差し込み部(A部)内周および既設排水管の差し込み部(B部)外周に十分に塗る(塩ビ用接着剤は別途手配ください。)
- 2 延長給水ホースを使用する場合、延長給水ホースを壁に沿って仮り置きする
- 3 排水ジョイントLを既設排水管に差し込む
- 4 マイナスドライバーなどを使用して、接続部をホースバンドで固定する

お願い

- 排水ジョイントにしわやねじれがないようにしてください。
水漏れの原因になります。

●断面図



手順 9

便器の取り付け

⚠ 警告



- 便器を取り付けるとき、電源コードをはさみ込まない

火災や感電の原因になります。

⚠ 注意

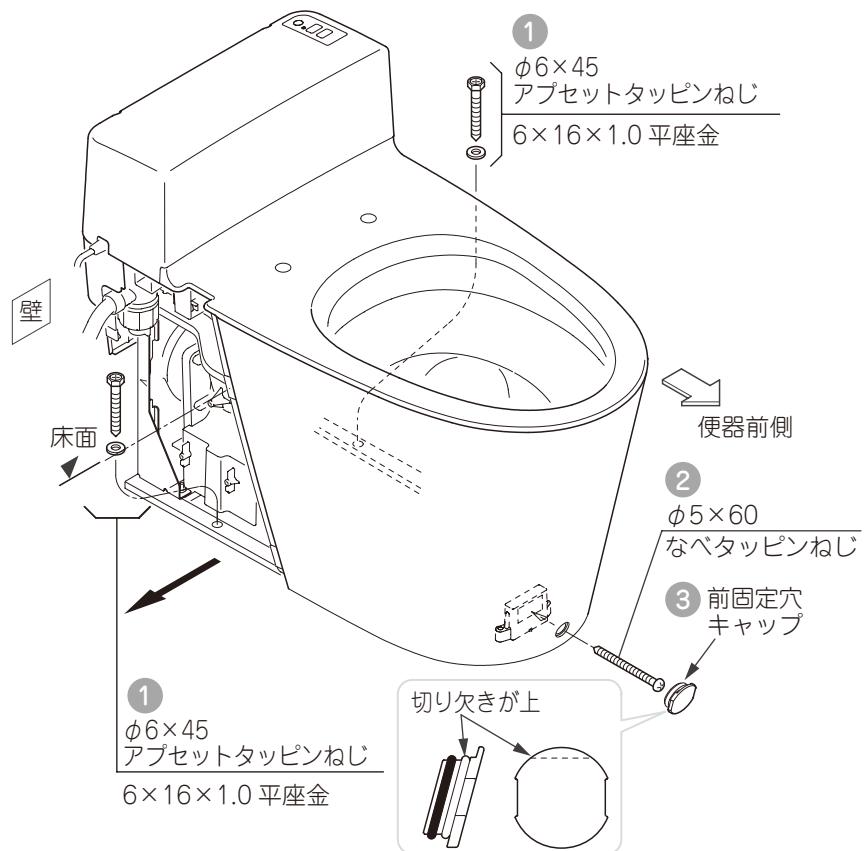


- 便器ががたつきがないことを確認する

水漏れの原因になります。

- ① 下穴位置を確認し、便器を床に
アプセットタッピンねじ $\phi 6 \times 45 \text{ mm}$ と
平座金 $6 \times 16 \times 1.0 \text{ mm}$ で固定する
2か所
- ② 便器前方を固定片になべタッピンねじ
 $\phi 5 \times 60 \text{ mm}$ で固定する **1か所**
- ③ 前固定穴キャップを、切り欠きを上にして
便器前方にはめ込む

(寸法単位: mm)



ポイント

- 便器と床のすき間がなくなるまでアプセットタッピンねじを締めつけてください。
- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。
サイドカバーが取り付けしづらいことがあります。
- 固定片の取付ねじは破損しないよう
ゆっくりと締めつけてください。

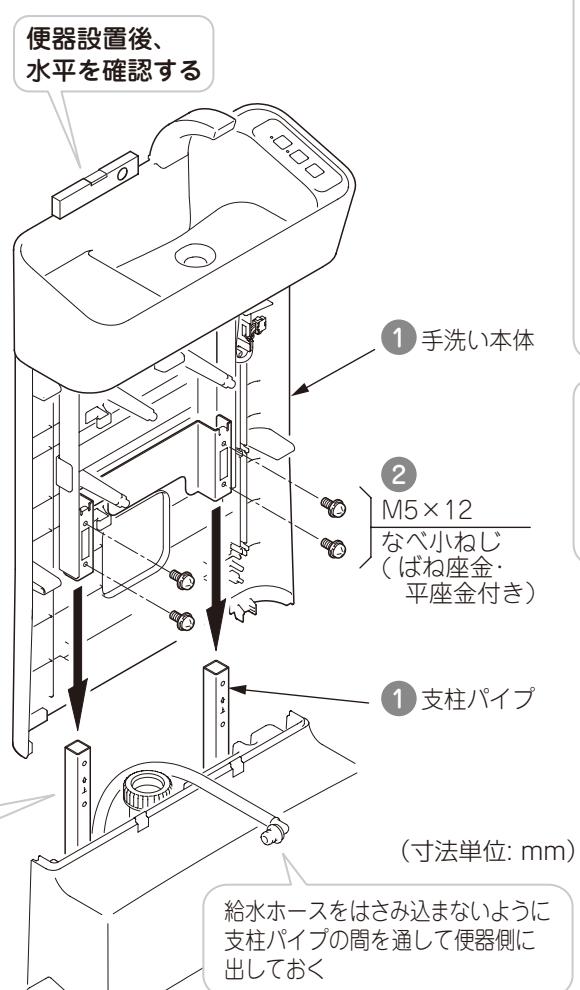
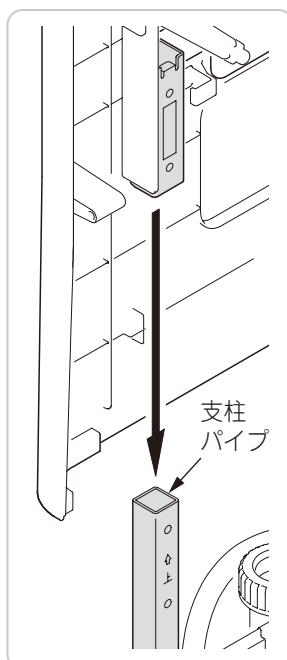
手洗いの取り付け(手順6～11)

- 手洗い付きの場合に参照してください。
- その他のタイプの場合は、次項目へ進んでください。

手順 6

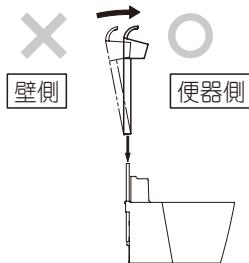
手洗いの取り付け

- 便器側支柱パイプに手洗い本体を差し込む
- なべ小ねじ(ばね座金・平座金付き) M5×12 mm で固定する **4か所**
- 左右調整してつまみ付ボルトを締めつける



差し込み時のポイント

- 壁側に倒れこまないように便器側に寄せて差し込む



左右調整

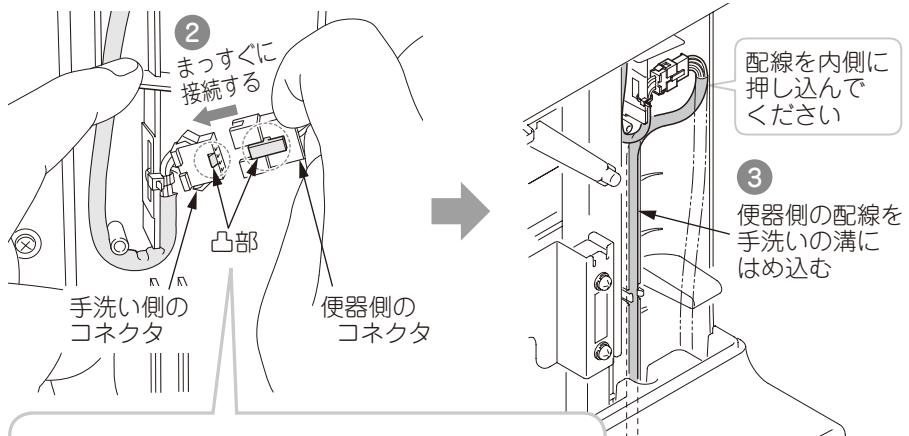
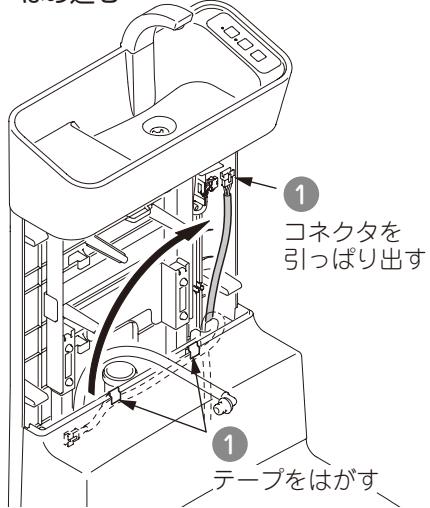
- 手洗いが水平になるように調整しながらつまみ付ボルト **4か所** を締め込んでください。



手順7

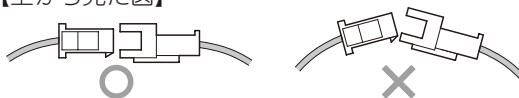
コネクタの接続

- ① 便器に仮固定されているテープをはがし、コネクタを引っぱり出す
- ② 便器側のコネクタを手洗い側のコネクタに接続する
- ③ 便器側の配線を手洗いの溝にはめ込む

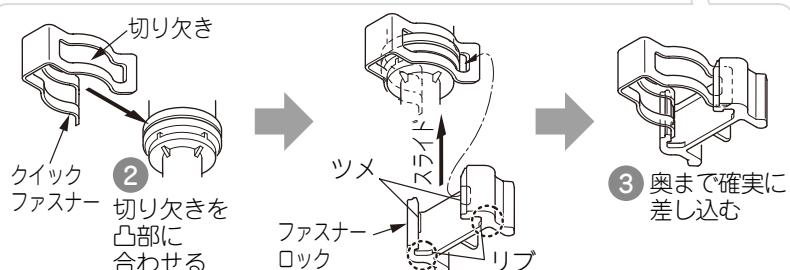
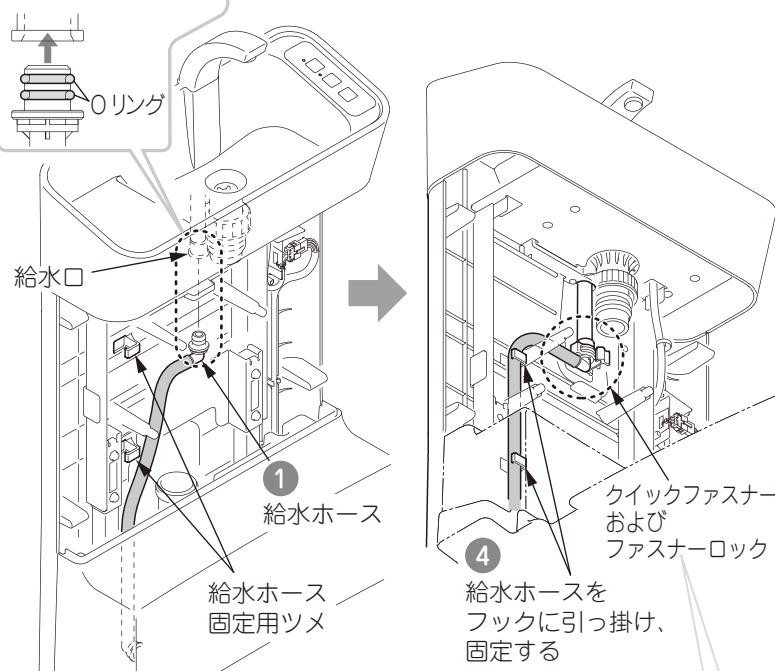


お願い

- コネクタの向きを確認してください。
凸部を目印に差し込んでください。
- コネクタはまっすぐに差し込んでください。
コネクタのピンが曲がり、接続できなくなります。
【上から見た図】



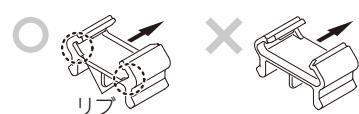
※まっすぐ差し込む



* ファスナーロックを右側に向け、手洗いのパックパネルから後ろにみ出さないように位置を調整してください。

ポイント

- ファスナーロックは、リブ(突起部)の反対側から取り付けてください。



手順8

給水ホース(上側)の取り付け

- ① 手洗い給水口に給水ホースを差し込む

! 注意

必ず守る

- Oリングに汚れがついていたり、ねじれていなかったりしないか確認する
- Oリングがかまないよう給水ホースをまっすぐ Oリングに差し込む
水漏れの原因になります。

- ② クイックファスナーの切り欠きを給水ホース接続部の凸部にはめ込む
- ③ ファスナーロックをクイックファスナーの奥まで確実に差し込む

! 注意

必ず守る

- クイックファスナーおよび ファスナーロックを確実に差し込み、給水ホースが抜けないことを確認する
水漏れの原因になります。

- ④ 給水ホースをフックに止める 2か所

手洗いの取り付け

手順9

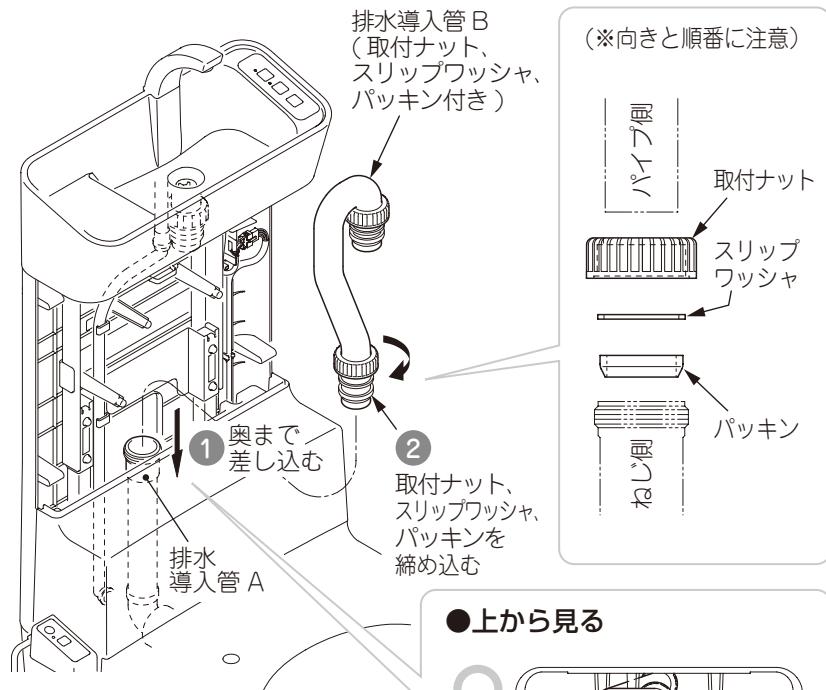
排水導入管Bの取り付け

- ① 排水導入管Bを排水導入管Aへ差し込む
- ② 取付ナット、スリップワッシャ、パッキンを締め込み固定する

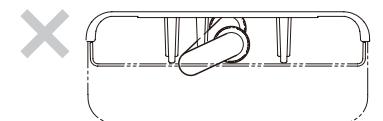
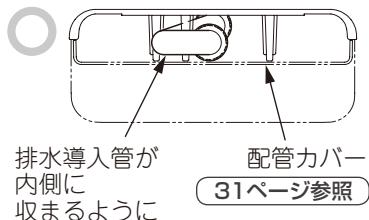
!**注意**



- スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む
水漏れの原因になります。



●上から見る



手順10

排水導入管Cの取り付け

- ① 排水導入管Cを排水導入管Bおよび手洗いボール排水口に差し込み接続する
- ② 取付ナット、スリップワッシャ、パッキン 2か所を締め込み、排水導入管Cを固定する

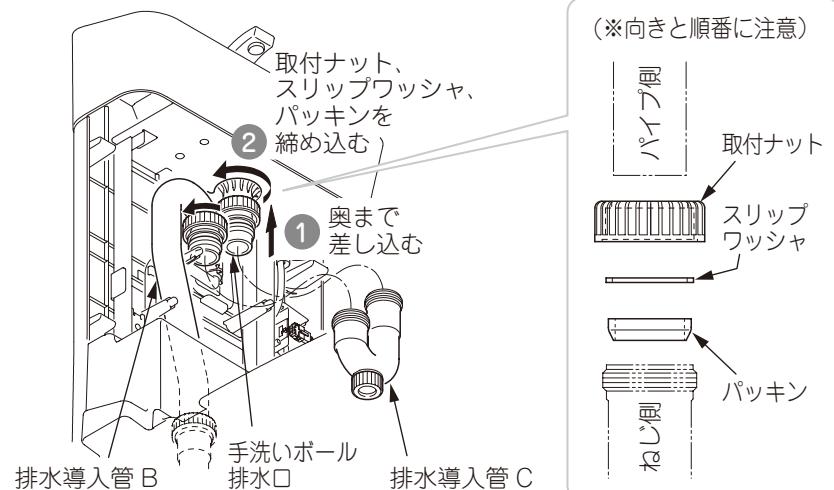
!**注意**



- スリップワッシャとパッキンを正しい向きと順番で確実に締め込む
水漏れの原因になります。

ポイント

- 配管カバーは後工程で取り付けます。
31ページ参照



● 全てのタイプで参照してください。

手順 1

止水栓への接続

! 注意



- 止水栓にがたつきがないことを確認する
水漏れの原因になります。

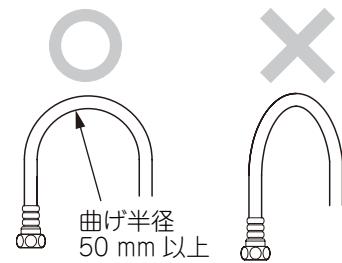
- ① 別売の温水洗浄便座や「アラウーノ専用手洗い」を併設する場合は、付属の説明書に従って分岐金具を取り付ける
- ② 便器の給水ホースを止水栓に接続する

排水ジョイント接続のお願い

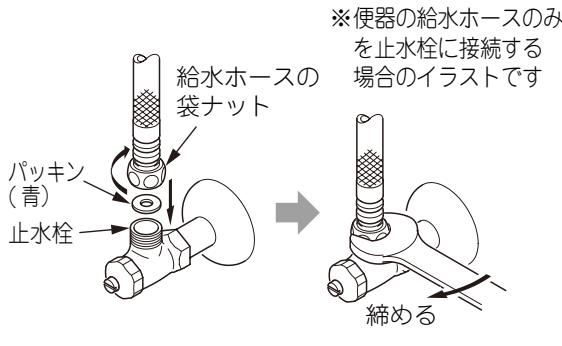
- 排水ジョイント接続の場合は、既設給水位置が給水可能範囲にあるか確認してください。正しく施工できなくなります。

お願い

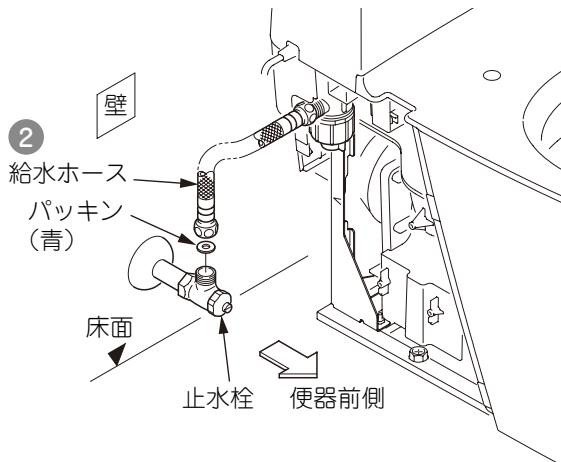
- 給水ホースのねじれや折れがないことを確認してください。便器洗浄水量が不足する原因になります。



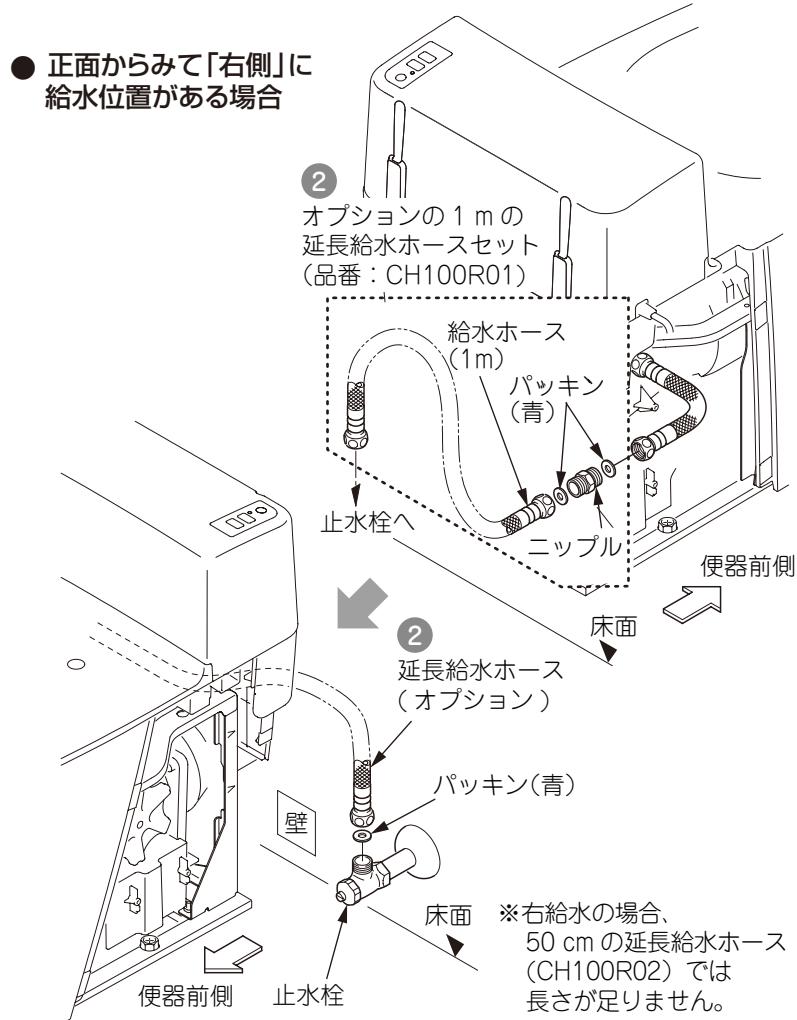
● 接続部詳細図



● 正面から見て「左側」に給水位置がある場合



● 正面からみて「右側」に給水位置がある場合



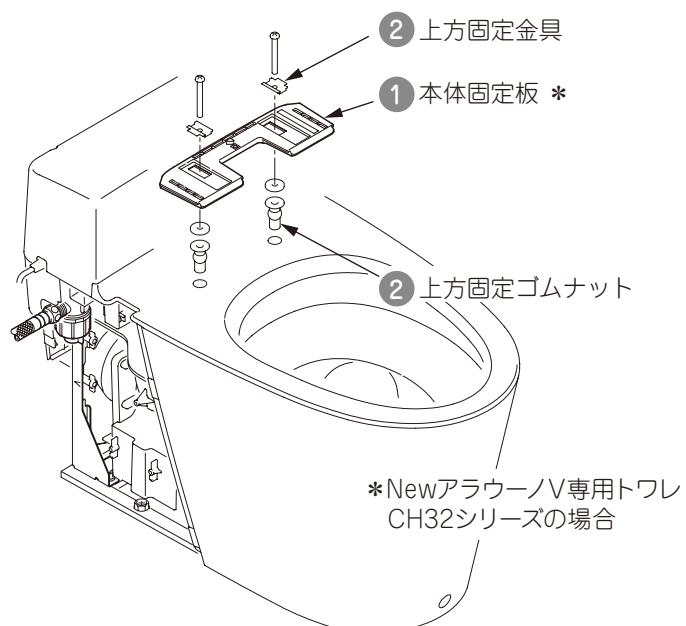
共通の施工手順

手順 2

便座の取り付け

お願い

- 当社「ビューティ・トフレ」CH320およびCH31・CH80・CH81・CH92シリーズには必ずゴムスペーサーを取り付けてください。CH32シリーズにはゴムスペーサーは必要ありません。(詳細はトフレ側の施工説明書をご確認ください。)
- ゴムスペーサー・本体固定板はしっかり締め付けてください。締め付けが弱いと本体ががたつくことがあります。



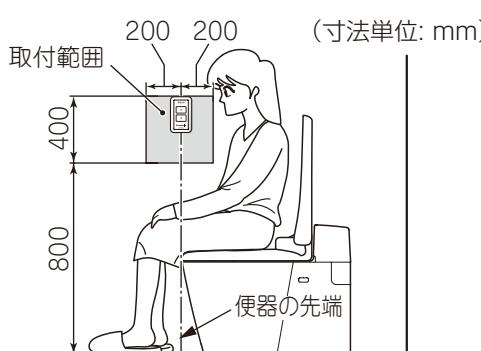
手順 3

リモコンホルダーの取り付け (オプション)

① リモコンホルダーの取り付け位置を確認する

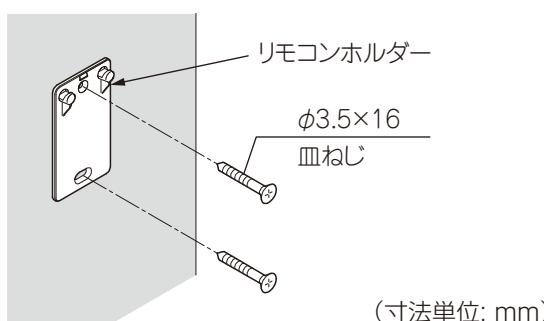
リモコンホルダーの取付位置

- お客様と相談の上、便座に座った状態で使いやすい位置に取り付けてください。



厚み5 mm以上の壁、柱などに取り付ける場合

- リモコンホルダーを壁にあて、取付穴の目印をつける 2か所
- リモコンホルダーを皿ねじ $\phi 3.5 \times 16 \text{ mm}$ で取り付ける



お願い

- 取り付け前に必ずリモコンの信号が受光できることを確認してください。
- 壁紙や天井が黒色や濃い色の場合、リモコンの信号が吸収されてしまい反応しません。
- 同室で2台以上並べて設置される場合、隣のリモコン信号を受けて動作する場合があります。リモコン信号を変更できますので、お買い上げの販売店までお問い合わせください。(有料)
- リモコンからの信号は、天井および壁からの反射光を便器に受光しますので、リモコンや便器受光部の上部に棚やカウンター・温水洗浄便座のリモコンなどを設置しないでください。
- 次のような場合、リモコンが作動しにくい場合があります。
【直射日光がリモコン受光部・発光部にあたっている場合】
直射日光をカーテンなどで遮断してください。
【インバータ照明など特定の照明をご使用の場合】
照明を消すと正常に動作する場合は、照明器具の交換をご検討ください。

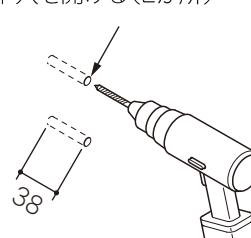
厚み5 mm未満の中空壁、タイル・コンクリートなどに取り付ける場合

- リモコンホルダーを壁にあて、取付穴の目印をつける 2か所
- 壁の種類別の取付方法でリモコンホルダーを取り付ける

(寸法単位: mm)

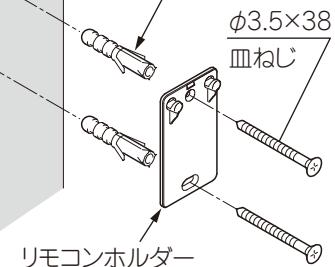
タイル・コンクリートなどの場合

$\phi 5.5 \text{ mm}$ 、深さ38 mmの下穴を開ける(2か所)



$\phi 5.5 \text{ mm}$ の下穴を開ける(2か所)

アンカープラグ
 $\phi 3.5 \times 38$



手順4

リモコンの取り付け（オプション）

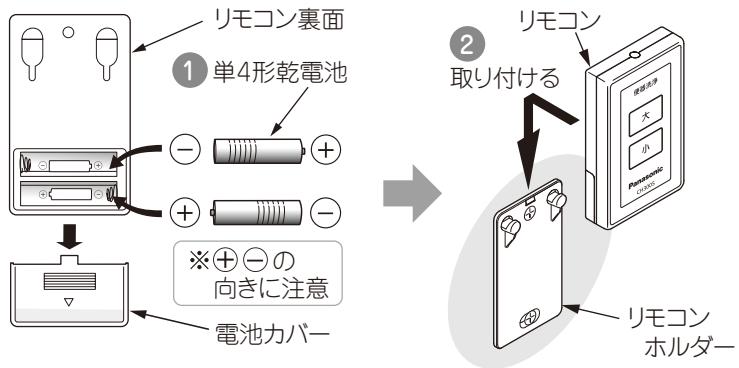
- ① 単4形乾電池をリモコンに入れる
- ② リモコンをリモコンホルダーに差し込む

! 注意



必ず守る

- 電池の +、- を正しく入れる
取り扱いを誤ると、電池の液漏れにより火災や周囲汚損の原因になります。



手順5

電源プラグの差し込み

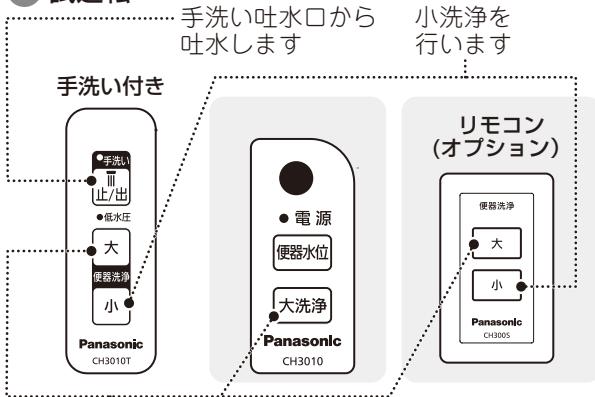
- ① 水道の元栓を開ける
- ② 電源プラグ(差し込み口付き)をコンセントに差し込む

手順6

試運転と水漏れの確認

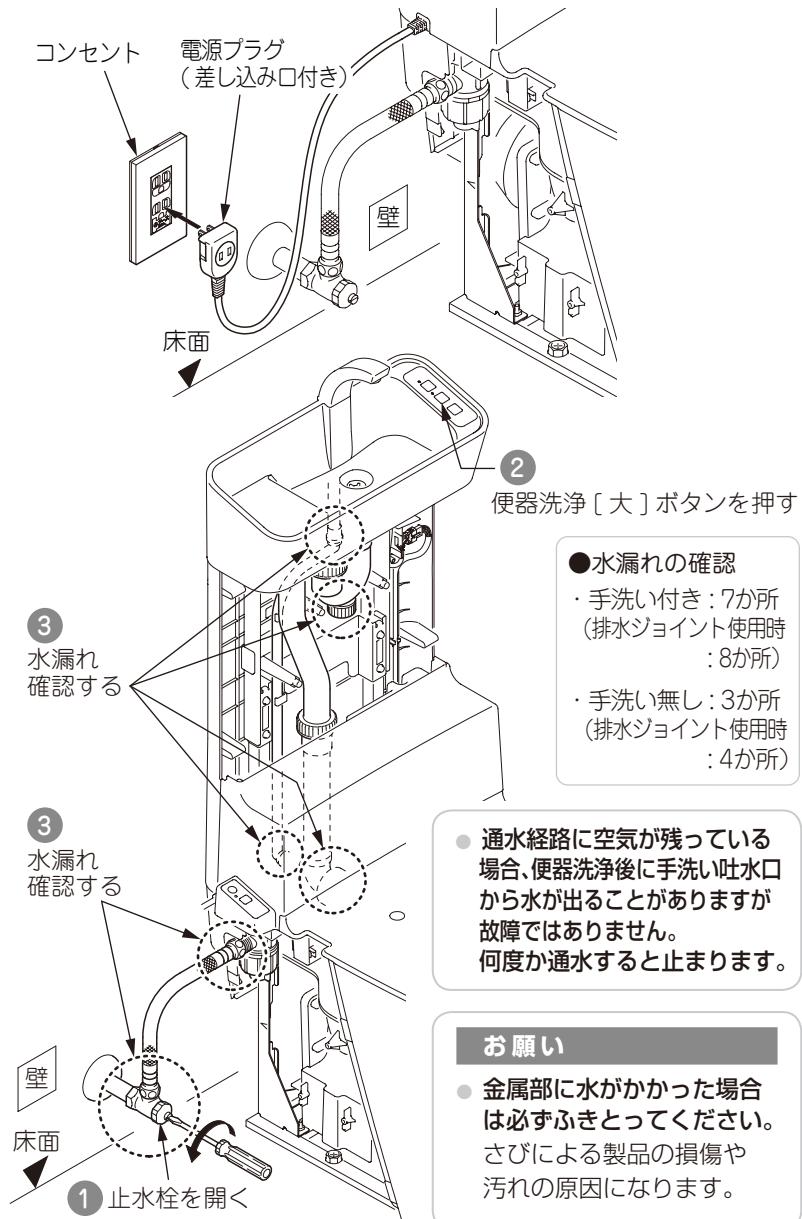
- ① 止水栓を開く
- ② 便器洗浄[大]ボタンを押し、通水する
- ③ 右下図を参照し、止水栓および各部から水漏れがないことを確認する
- ④ 各操作ボタンを押し、動作を確認する

④ 試運転



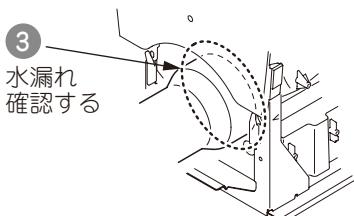
「手洗い付き」でボタンを押しても水が出ない場合

- 手洗いコネクタが接続されているか確認してください。[23ページ参照](#)

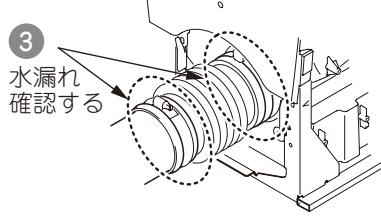


水漏れの確認（背面から見る）

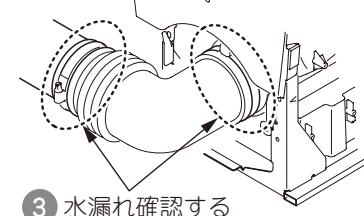
● 後ろ抜きの場合



● 排水ジョイントSの場合



● 排水ジョイントLの場合



水栓数の変更（手洗い付きの場合）

・水道料金の算出にあたり、水栓数の変更が有効となる場合に設定してください。

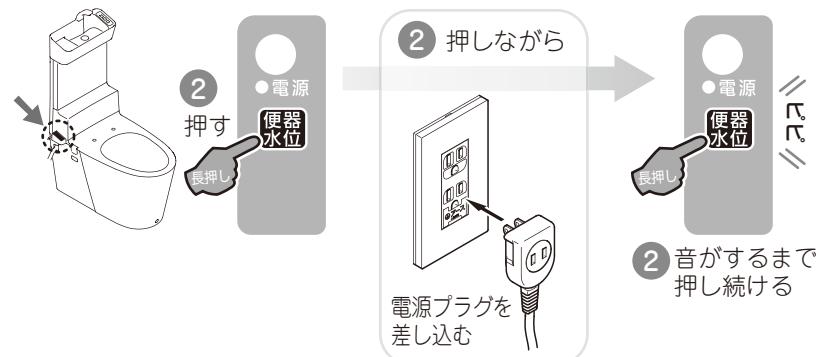
一部の市町村において、本製品の水栓数のカウントは2栓となります。下記の設定により、1栓とカウントされる場合があります。

この設定変更により、手洗い操作部の【手洗い止/出】ボタンが無効となります。必ずご使用されるお客様にご説明ください。

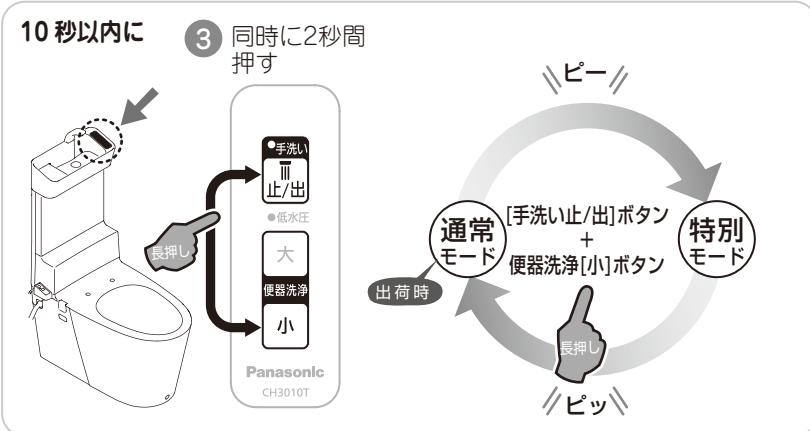
- ① 電源プラグをコンセントから抜き10秒以上待つ
- ② 便器操作部の【便器水位】ボタンを押しながら、電源プラグをコンセントに差し込み、設定変更モードにする
 - [便器水位]ボタンを押し続けると「ピッ」と音がして設定変更モードになります。
- ③ 手順②の後、10秒以内に手洗い操作部の【手洗い止/出】ボタン+便器洗浄【小】ボタンを同時に2秒間押す

10秒以上放置すると設定変更ができなくなります。その場合は、再び手順1からやり直してください。

リモコン（オプション）の【小】ボタンでは設定できません。



- ④ 設定を変更後、約10秒待つ
 - 「ピー」と音がして、電源ランプが点灯に変わり、通常動作に戻ります。
 - 通常動作に戻らないと便器洗浄および手洗い吐水ができません。また便器水位を下げることができません。



手順8

ストレーナの掃除

- ① 止水栓を開じ、便器洗浄【大】ボタンを押す
- ② 水受けをストレーナの下に置く

お願い

- 必ず水受けを置いてください。
ストレーナの取り外しのときに、約50cc～100cc程度の水がでますので、ストレーナを締めるまで水受けをご用意ください。
- 便器や床に水がかかった場合は必ずふきとってください。

- ③ ストレーナふたを緩めストレーナを取り外す

お願い

- ストレーナの取り外しの際に、指をはさまないように注意してください。

- ④ ブラシなどを使い、ストレーナをきれいに水洗いする
- ⑤ ストレーナを元通りに取り付ける
(ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。)
- ⑥ 止水栓を開け、水漏れがないことを確認する

お願い

- 施工後、長期間使用しない場合は、水抜きを行ってください。 30ページ参照

お願い

- 必ずストレーナを掃除してください。
施工直後は、ストレーナに配管内の水アカやゴミ、シールテープなどが詰まります。



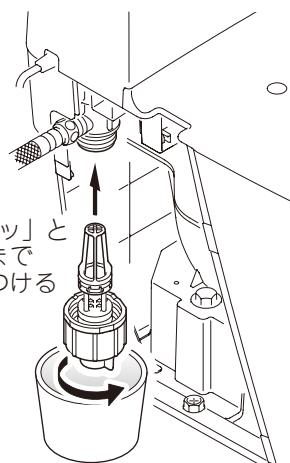
注意



- 止水栓を開いたままストレーナを外さない
水が吹き出し拡大損害になります。



- ストレーナのねじ部に異物がないようにきれいに水洗いする
- ストレーナふたをしっかりと締めつける
水漏れの原因になります。



施工後に、長期間使用しない場合（施工後、直ちに使用しない場合など）

便器内部の水抜き

お願い

- 長期間使用しないときは、便器内部の水を抜き、電源プラグとリモコンの電池を抜いてください。便器洗浄面のため水は抜かないでください。
- ストレーナの取り外しの際に、指をはさまないように注意してください。
- 必ず水受けを置いてください。ストレーナの取り外しのときに、約50 cc～100 cc程度の水が出ますので、ストレーナを締めるまで水受けをご用意ください。

手洗い付きの場合

- ①止水栓を閉じる
- ②便器洗浄[大]ボタンを押す（「ピピピ・ピピピ」と音がするまで待つ）
- ③水受けをストレーナの下に置く
- ④ストレーナふたを緩め、ストレーナを取り外す
- ⑤[手洗い止/出]ボタンを5秒以上押し続ける
(再び、手洗い給水ホース内の残圧を抜く)
- ⑥「ピピ」と音がするまで待つ
(手洗いランプが点滅する)
- ⑦10分以上待って、手洗いランプが点滅しなくなることを確認する
- ⑧ストレーナを元通りに取り付ける
(ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。)

手洗い無しの場合

- ①止水栓を閉じる
- ②便器洗浄[大]ボタンを押す（「ピピピ・ピピピ」と音がするまで待つ）
- ③水受けをストレーナの下に置く
- ④ストレーナふたを緩め、ストレーナを取り外す
- ⑤ストレーナを元通りに取り付ける
(ストレーナふたを「カチッ」となるまで締めつけてください。)

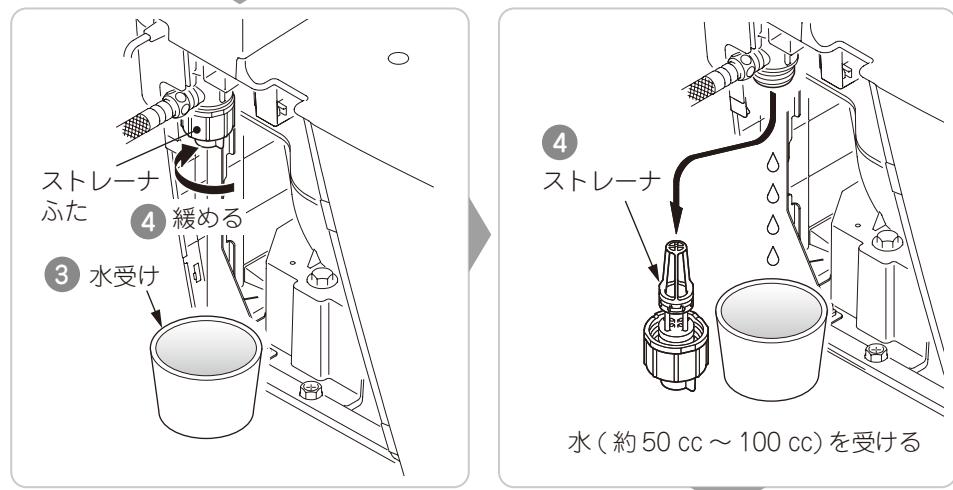
！注意



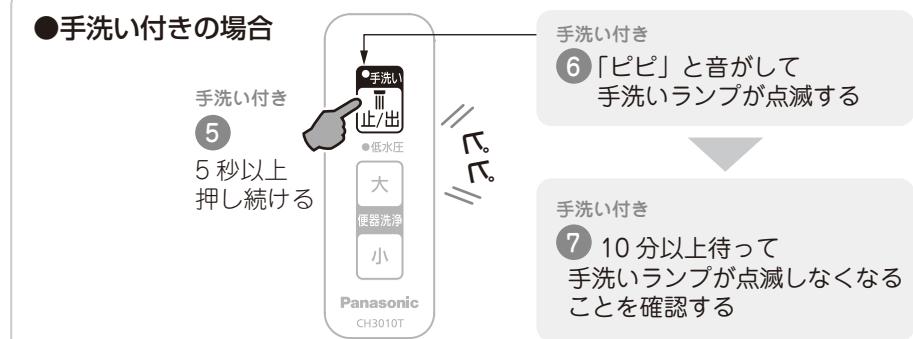
- 止水栓を開いたままストレーナを外さない水が噴き出し拡大損害になります。



- ストレーナふたをしっかりと締めつける水漏れの原因になります。

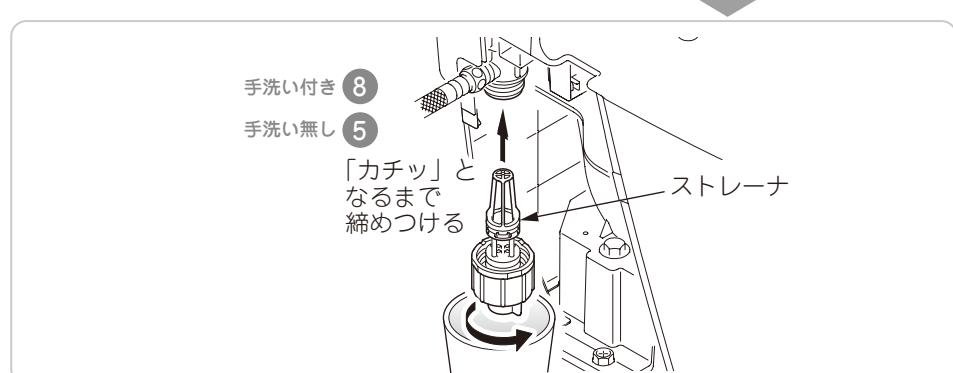


●手洗い付きの場合



手洗い付き

- 7 10分以上待って
手洗いランプが点滅しなくなる
ことを確認する



手順 9

サイドカバーの取り付け

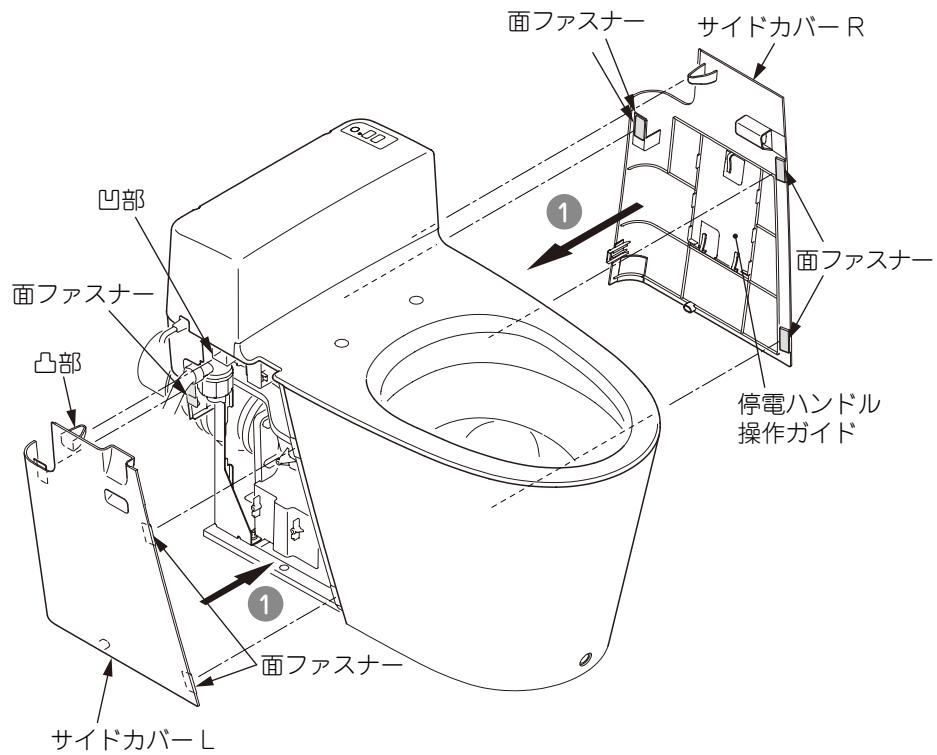
- ① サイドカバー上部の凸部とフレームの凹部を合わせ、面ファスナー 3か所 を貼りあわせる

お願い

- サイドカバーとリアカバーのすき間が大きく開いた場合は、つまみ付ボルトの取り付け方をご参考ください。
(手洗い付きの場合) 22ページ参照

ポイント

- 床仕上材によって便器が沈み込む場合は、スペーサーを入れてください。サイドカバーが取り付けしづらいことがあります。



手順 10

配管カバーの取り付け

(手洗い付きの場合)

- ① 配管カバーを手洗いになべタッピンねじ $\phi 4 \times 20 \text{ mm}$ で取り付ける 4か所

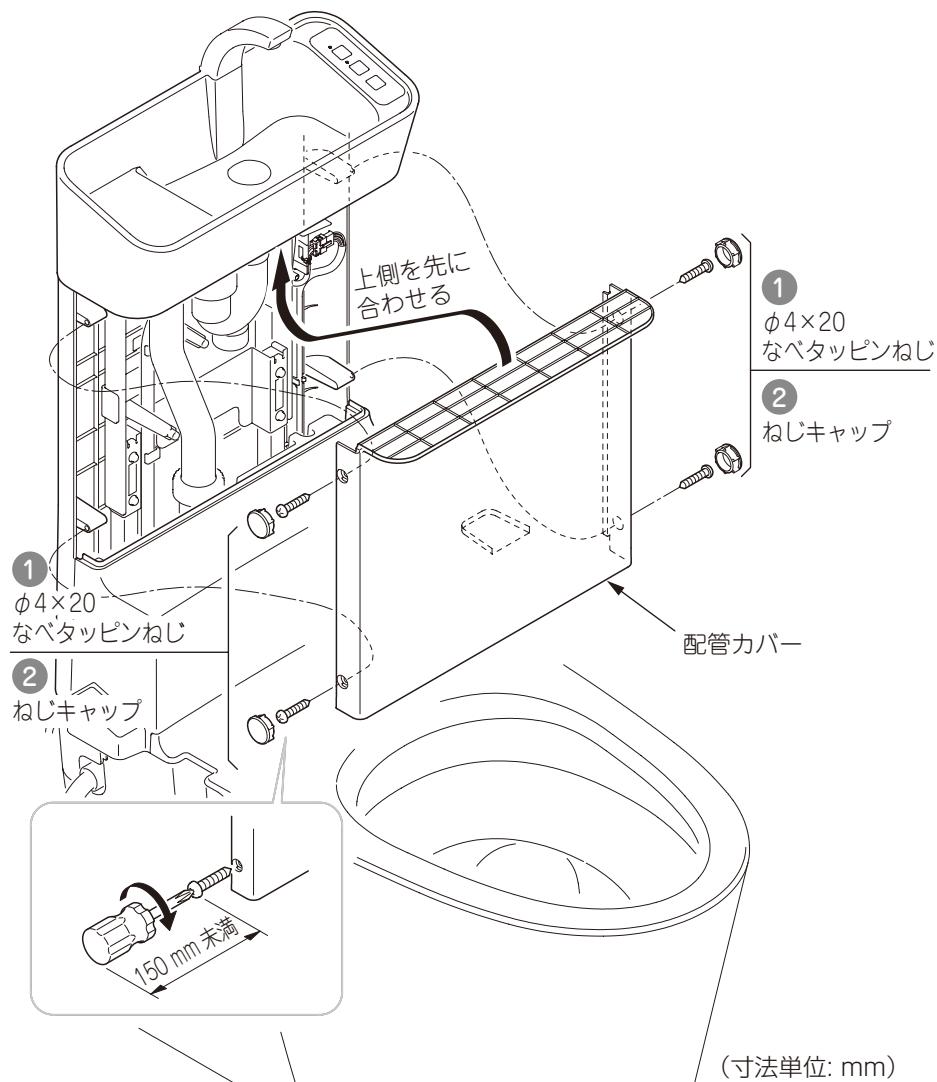
- ② ねじキャップを配管カバーにはめ込む 4か所

お願い

- ねじキャップに浮きがないことを確認してください。
ねじが確実に締まっていないと
ねじキャップに浮きができることがあります。

お願い

- 取り付けには電動ドリルドライバーを使用しないでください。
強いトルクで締めつけると破損の原因になります。



▶施工完了チェックリスト

▶施工後必ず動作確認を行い、この施工完了チェックリストに施工点検結果を記入の上、お客様へお渡しください。

No.	内容	結果
1	バスルーム内など、湿気の多い場所に設置していませんか？	
2	中水道や工業用水、井戸水に接続していませんか？	
3	便器にがたつきがありませんか？	
4	便器は床に固定しましたか？	
5	「止水栓」は開いていますか？（長期間使用しない場合を除く）	
6	交流100Vに適した電源コンセントに接続していますか？	
7	電源コンセントに、がたつき・緩みはありませんか？	
8	サイドカバーは確実に取り付けてありますか？	
9	手洗いコネクタは確実に接続されていますか？	
10	大洗浄でトイレットペーパーが確実に流れますか？	
11	洗浄スイッチ操作時、便器と床面の水漏れはありませんか？	
12	洗浄スイッチ操作時、配管の水漏れはありませんか？	
13	ストレーナは掃除しましたか？	
14	長期間使用しない場合、水抜きを行いましたか？（便器洗浄面のため水は抜かない）	

▶引き渡し

▶取扱説明書にしたがって取扱方法をお施主様にご説明ください。

▶施工説明書、取扱説明書、保証書(別添付)に必要事項を記入し、お客様にお渡しください。

施工日	施工店名	担当者